

日本全国で開催！

2026年度保存版

教育研修案内 (セミナーガイド)




標準化で、世界をつなげる。
JSAGROUP
日本規格協会グループ SINCE 1945

目次

下記のセミナー名をクリックすると
該当ページが表示されます。

各セミナーのご案内ページの上部コース名をクリックすると
Webdesk（Webページ）のコース詳細ページが開かれます。

2026年度 新規開催セミナー	03		
<u>品質管理</u>		<u>機能安全</u>	
品質管理と標準化セミナー	05	機能安全セミナー	46
JIS品質管理責任者セミナー	09	<u>ISO・マネジメントシステム</u>	
品質管理セミナー	13	ISO9000セミナー	48
実践!データ分析講座	28	ISO14000セミナー	56
信頼性セミナー	31	SDGsセミナー	59
人材育成セミナー	34	IATF16949セミナー	60
現場の管理と改善セミナー	35	リスクマネジメントセミナー	61
ヒューマンエラー	40	ISO45000セミナー	63
		FSSC22000セミナー	64
<u>生産管理</u>		ISO/IEC27000セミナー	69
生産管理セミナー	44	JIS Q 15001セミナー	70
		<u>品質経営</u>	
<u>設備管理</u>		品質経営セミナー	74
設備管理セミナー	44		
		<u>化学物質管理</u>	
<u>QCサークル</u>		化学物質セミナー	75
QCサークルセミナー	45		
<u>実験計画法</u>			
実験計画法セミナー	46		
		<u>安全衛生</u>	
		安全衛生セミナー	78
		<u>製図技術</u>	
		製図技術セミナー	79
		<u>不確かさ評価</u>	
		不確かさ評価セミナー	81
		<u>標準化・規格開発</u>	
		標準化セミナー	82
		<u>タグチメソッド（品質工学）</u>	
		品質工学（タグチメソッド）セミナー	83
		品質工学 研究会・フォーラム	87
		<u>公開研究会・講演会</u>	
			89
		<u>国際標準化セミナー／JIS原案作成セミナー</u>	
			92
		<u>社内研修・技術指導のご案内</u>	
			94

お問い合わせはこちら
 日本規格協会グループ 研修事業部
etd@jsa.or.jp

ISO9000セミナー

新規

2026年改訂 ISO9001差分ポイント 解説コース

開催地区

関東
 北海道
 東北
 中部
 関西
 中国
 四国
 九州
 ライブ
 動画

参加費

一般 ※現在調整中です。
 維持会員 ※現在調整中です。

2015年版との「変更点」を解説

短時間でポイントを理解！

ISO9001:2026が、2015年版からどこが変わったのか、差分に焦点を当てて解説するコースです。改訂箇所のみの特化して、短時間&オンラインで全国どこでもご受講できます。質疑応答時間では、講師に直接質問できます。
 ※今後の国際規格の発行状況により内容は変更となる場合がございます。

プログラム 視聴可能期間30日間

※現在調整中です。

ISO14000セミナー

新規

2026年改訂 ISO14001差分ポイント 解説コース【動画版/ライブ配信版】



開催地区

関東
 北海道
 東北
 中部
 関西
 中国
 四国
 九州
 ライブ
 動画

参加費

動画版
 一般 ¥ 9,900(税込)
 維持会員 ¥ 8,800(税込)
 ライブ配信版
 一般 ¥16,500(税込)
 維持会員 ¥14,300(税込)

2015年版との「変更点」を解説

オンデマンド動画でいつでも受講！/ライブで講師に直接質問ができる！

ISO14001:2026が、2015年版からどこが変わるのか、差分に焦点を当てて解説するコースです。改訂箇所のみの特化した講義を、オンデマンド配信/短時間&オンラインでいつでもどこでもご受講できます。
 ※今後の国際規格の発行状況により内容は変更となる場合がございます。

プログラム (ライブ配信版) 13:30~15:30

- ISO14001規格開発動向 (動画版のみ) -9. パフォーマンス評価
- ISO14001:2026の改訂点 -10. 改善
 - 主な改訂ポイントと、複数箇条にまたがる改訂
 - 序文, 0.1 背景
 - 4. 組織の状況
 - 5. リーダーシップ
 - 6. 計画
 - 7. 支援、8. 運用
- 質疑応答 (ライブ配信版のみ)

品質管理セミナー

新規

変化点管理から実現する 現場力強化と再発ゼロの「予防処置」実践コース



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 **ライブ** 動画

参加費

一般 ¥16,500(税込)

維持会員 ¥13,200(税込)

従来の再発防止の課題を打破

現場主導の予防処置へ

本講座は、「変化点管理」を基盤に、対策の質を担保する「原因抽出と抜け落ちない有効性評価」の手法、そして「再発ゼロ」を実現する仕組みづくりを習得します。さらに、現場の「気づく力（現場力）」を徹底的に磨くことで潜在的リスクを可視化し、「予防処置」を組織的に実践するための行動様式を学びます。これらを通じて未来に向けた「機会」構築を追求しましょう。

プログラム 1日間 9:30~16:30

- 品質管理について
- ばらつきについて
- 変化点管理について
- 再発防止と有効性評価
- 予防処置と現場力
- これからの品質管理

データ分析セミナー

新規

すぐに始めるPythonデータ分析速習コース



開催地区

関東 北海道 東北 中部 **関西**
中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ¥40,700(税込)

維持会員 ¥35,200(税込)

Python初心者も安心！データ分析の即戦力へ

ブラウザだけで手軽にデータの見える化

直感的なデータ集計・加工（Pandas）と、分析結果をグラフで表現する可視化（Matplotlib/Seaborn）の基礎を習得します。手を動かす実践形式のため、講義後すぐに業務データをPythonで分析・活用できるスキルが身につきます。データに基づいた迅速かつ正確な意思決定を可能にする、データサイエンスへの確かな一歩をこの講座から踏み出しましょう。

プログラム 1日間 9:30~16:30

- はじめに
- Google Colaboratoryの基礎
- Pythonの基礎
- データ操作の要：Pandas
- データの可視化：MatplotlibとSeaborn入門
- 演習
- まとめ

品質管理と標準化セミナー

普通科コース（22日間）



開催地区

関東

北海道

東北

中部

関西

中国

四国

九州

ライブ

動画

参加費

一般 ￥523,600(税込)

維持会員 ￥476,300(税込)

✔ 問題解決のエキスパートを養成

✔ この22日間は一生の財産

✔ Point

品質管理と標準化に有効な基本的な手法から統計的手法（検定・推定から実験計画法・多変量解析まで）を活用した実施法まで、管理技術全般を講義と実習（PC演習、演習、グループ討論などの多彩なプログラム）を5か月間（22日）にわたって徹底指導し、品質管理全般の知識を効率よく体系的に学べるプログラムになっています。

本セミナーの参加により組織の大小を問わず永遠の課題とされる「品質第一」「ひとづくり」などに、きっとお役に立てると確信しております。

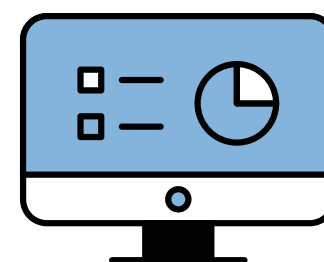
対象

- 品質管理・品質システムを推進する技術系スタッフ
- 実務でのSQC実践活用を指導するアドバイザー
- 国内外を問わず、会社・工場・部・課などの品質保証やQC推進担当者、製造現場の方、又はこれから担当される方々

職場の問題・課題解決のエキスパート育成を実現する6つの特徴

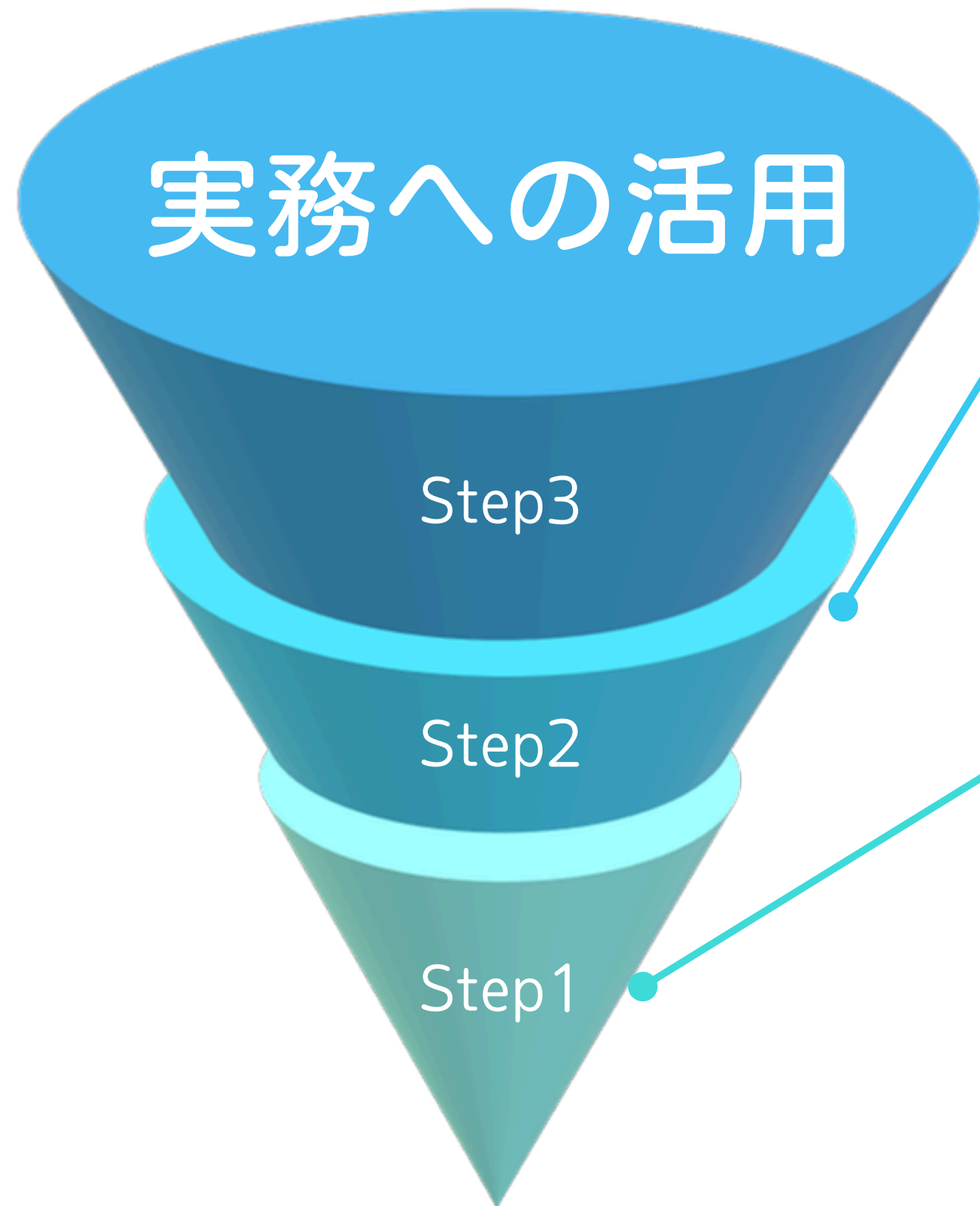


第1月目	第2月目	第3月目	第4月目	第5月目
イントロダクション	STI (理解度確認テスト)	STII (理解度確認テスト)	STIII (理解度確認テスト)	修了テスト
品質マネジメントI	検定と推定III 計量値データの検定と推定	ISO9000ファミリー	サンプリングと検査I	品質管理責任者テスト
品質マネジメントII	検定と推定IV 計量値データの検定と推定	プロセスの計画と管理	サンプリングと検査II	信頼性工学III
産業標準化	実験の計画と解析I	実験の計画と解析III	実験の計画と解析V	信頼性工学IV
データのまとめ方	実験の計画と解析II	実験の計画と解析IV	実験の計画と解析VI	顧客価値創造技術とQFD
QC7つ道具(Q7)	相関分析と単回帰分析I	多変量解析法I	標準と標準化	感性品質
改善の進め方	相関分析と単回帰分析II	多変量解析法II	パラメータ設計入門	JISマーク表示認証制度における 製品試験とJIS Q 17025
統計的方法の基礎(分布)I	社内標準化I	信頼性工学I	信頼性工学II	ケーススタディ⑤
統計的方法の基礎(分布)II	社内標準化II	ケーススタディ③	ケーススタディ④	改善問題研究⑤
ケーススタディ①	ケーススタディ②	改善問題研究③	改善問題研究④	改善研究発表
新QC7つ道具(N7)	検定と推定V 計数値データの検定と推定			
統計的工程管理の ための管理図	検定と推定VI 計数値データ			
検定と推定の考え方I	改善問題研究②			
検定と推定II 計量値データの検定と推定				
改善問題研究①				



充実したプログラム全22日間

受講による知識習得のイメージ図



実践的な演習プログラム「改善問題研究」

自らの業務に関わる「改善テーマ」について、毎月、講師の指導やグループ討論を通して、調査・実施を行い、改善策を見出していただきます。講義で習得した手法・実施方を実践することで、問題解決力・課題達成力をアップさせることができます。

品質管理と標準化を網羅した「カリキュラム」

- ◇産業標準化
- ◇品質管理
- ◇品質管理の基礎的手法
- ◇管理図
- ◇標準化
- ◇統計的方法
(検定・推定、サンプリングと検査)
- ◇実験データの解析と計画
- ◇相関・回帰分析・多変量解析法
- ◇品質管理実施法及び特論
- ◇事例研究
(PC演習、グループ討論) など

職場の問題・課題解決のエキスパート育成を実現する特徴

学習効果を高める
「宿題と理解度テスト」の実施

1：宿題

毎月の学習内容に応じて、実践的な内容の宿題を課します。学習したことを確実に身につけ、実践力を高めることができます。

2：理解度テスト

毎月の理解度テスト(ST)と最終月の修了テストを実施します。習得した知識レベルを常に把握することができます。

「品質管理責任者養成」
の講習会基準に適合

本セミナーは、JIS登録認証機関協議会(略称JISCBA)で定められている“品質管理責任者養成のための講習会基準”の普通科コース規程を満たしており、同基準の修了条件で定められている品質管理責任者テストを実施します。このテストに合格し、出席率が80%以上の方には、修了証書と修了カードを授与いたします。

品質管理検定(QC検定)
1級レベルに対応

品質管理と標準化セミナー修了後、受講生は直近に開催するQC検定1級または2級試験への受検申込ができます(1回限り無料)。

1級の人材像

- 部門横断の品質問題解決をリードできるスタッフ
- 品質問題解決の指導的立場の品質管理技術者

JIS品質管理責任者セミナー

専修科コース（9日間）



開催地区

関東

北海道

東北

中部

関西

中国

四国

九州

ライブ

動画

参加費

一般 ￥136,400(税込)

維持会員 ￥121,000(税込)

- ✓ 品質管理責任者を養成！
- ✓ 品質管理や標準化の知識を習得
- ✓ JIS登録認証機関協議会（JISCBA）講習会基準 準拠

あらたに「JISマーク表示制度における品質管理責任者」に求められる能力（力量）を得ようとする方々のためのコースです。

品質管理責任者に求められる知識である、品質管理、産業標準化、社内標準化等を一から学ぶことができます。

JISマーク製品の信頼性を確保するために、品質管理責任者が企業の中で果たすべき役割は非常に大きなものです。

その役割を果たすためには、しっかりとした基礎知識の習得、そして継続的な学習や情報収集が不可欠です。

「JIS品質管理責任者セミナー」は、育成から力量維持まで、しっかりとサポートするラインナップとなっています。



＜JISマーク表示認証制度について＞

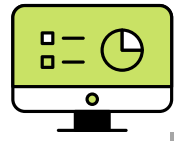
2008年10月からJISマーク表示認証制度の新制度が開始し、新制度では、従来の「工業標準化品質管理推進責任者」に相当する職務を遂行するために「品質管理責任者」を置くことが要求されています。この品質管理責任者に求められる能力（力量）について、経済産業省は、「旧制度の工業標準化品質管理推進責任者に求められる基準とほぼ同等」と説明しています。

＜産業標準化法の施行について＞

工業標準化法が一部改正され、2019年7月1日より産業標準化法が施行されました。

対象

- JISマーク表示制度「品質管理責任者」の力量を身に付けたい方
- 品質管理・標準化の基礎を習得されたい方



プログラム

9:30~10:30

10:30~11:30

11:30~12:30

13:30~14:30

14:30~15:30

15:30~16:30

16:30~17:30

第1月目

1
日
目

産業標準化

品質管理とは

管理のいろいろ

統計的な考え方

—

2
日
目

改善活動における
データの役割

サンプリングと
データ

母集団を推測する
ための解析

データを整理し
視覚化する方法

重点指向の考え方

結果と原因の
関係把握

品質管理演習①

3
日
目

時系列グラフを用
いた管理

2変数の関係の
把握(1)

2変数の関係の
把握(2)

統計的方法の基礎
(1)

統計的方法の基礎
(2)

品質管理演習②

品質管理総論(1)

第2月目

1
日
目

時系列データとそ
の管理

工程の解析(1)

工程の解析(2)

工程の解析(3)

工程の安定状態の
判定

時系列データ解析
の応用

品質管理演習③

2
日
目

検査とは

抜取検査(1)

抜取検査(2)

事例研究

産業標準化
(JIS 制度製品試験とJIS Q 17025)

3
日
目

社内標準化

宿題解説①

品質管理総論(2)

第3月目

1
日
目

工程の管理と改善

工程の改善の
取り組み(1)

工程の改善の
取り組み(2)

工程の改善の
取り組み(3)

工程の管理の
取り組み(1)

工程の管理の
取り組み(2)

工程の管理の
取り組み(3)

2
日
目

社内標準化

宿題
解説②

品質管理総論(3)
産業標準化総論

—

3
日
目

品質保証

修了テスト
(90分間)

JIS受審準備/品質管理責任者の心構えと役割

—

JIS品質管理責任者セミナー

専修科コース（動画版）



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 ライブ **動画**

参加費

一般 ￥136,400(税込)

維持会員 ￥121,000(税込)

専修科コースをWeb受講！

いつでもどこでも学習

あらたに「JISマーク表示制度における品質管理責任者」に求められる能力（力量）を得ようとする方々のためのコースです。品質管理責任者に求められる知識である、品質管理、工業標準化（産業標準化）、社内標準化等を一から学ぶことができます。

※動画視聴にて受講いただきます。

※修了テストは、全動画視聴後にエントリーし、指定された会場で受けていただきます。

受講について

2024年4月 eラーニングにリニューアルしました！

- 動画視聴でしっかりと受講
- 動画を見た後は理解度確認問題で力試し
- 毎月開講

JIS品質管理責任者セミナー

力量維持・向上コース



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 ライブ **動画**

参加費

一般 ￥22,000(税込)

維持会員 ￥19,800(税込)

3年に1回の受講で力量維持

★2025年教材リニューアル

JIS品質管理責任者の資格を取得した後にも、知識の復習や、法令改正点についての情報を得る場として、定期的なご受講をお奨めしているコースです。講義にて最近のJIS制度について学ぶほか、グループワークにて他業種の方と交流をしながらケーススタディを行います。JISCBAの講習会基準では、3年に1回以上受講することが推奨されています。また、昨今の品質不祥事問題に対して、品質管理責任者としてできることを講義内で考えます。

2025年度に教材をリニューアルしました。

プログラム 1日間 9:30～16:30

- JIS制度、品質管理責任者について
- 品質管理責任者に求められる役割（ケーススタディ）
- 理解度チェック

※コース修了者には修了カードを発行します。

JIS品質管理責任者セミナー

短期特別コース（2日間）



開催地区

関東

北海道

東北

中部

関西

中国

四国

九州

ライブ

動画

参加費

一般 ¥60,500(税込)

維持会員 ¥55,000(税込)

QC検定2級以上等合格者は2日間

品質管理責任者までの最短ルート

QC検定2級以上※に合格し、「JISマーク表示制度における品質管理責任者」に求められる品質管理に関する知識をお持ちの方のみを対象とした産業標準化、社内標準化の学習に特化した短期（2日間）コースです。

※受講資格があるコースです。講習会基準に従いQC検定2級以上または、ソフトウェア品質技術者資格認定（JCSQE）の初級以上合格証の複写のご提出をお願いしています。

プログラム 第1日9:30～17:30／第2日9:30～14:30

第1日

産業標準化

社内標準化

第2日

産業標準化（JIS制度製品試験とJIS Q 17025）

産業標準化特論（JIS申請概論等）

修了テスト

※コース修了者には修了証書、修了カードを発行します。

品質管理セミナー

e-ラーニングで学ぶ 品質管理入門 コース



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 ライブ **動画**

参加費

一般 ￥19,800(税込)

維持会員 ￥17,600(税込)

動画で学ぶ品質管理、はじめの一步

30日間で品質管理の基礎をマスター！

日本規格協会の品質管理セミナー(QC手法)入門コース(2日間)がe-ラーニングになって新登場！受講期間30日間であればいつでもどこでも好きな時に品質管理について学ぶことができます！勿論気になったところ・分からないところは繰り返し視聴可能！動画を視聴しながらダウンロードしたテキストの空欄を埋めて完成させましょう！

プログラム 視聴可能期間30日間 ※何度でも挑戦可能な理解度テストを適宜実施

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> なぜ品質管理か | <input type="checkbox"/> 特性要因図 |
| <input type="checkbox"/> ばらつきを理解する | <input type="checkbox"/> 散布図 |
| <input type="checkbox"/> データをまとめる | <input type="checkbox"/> 散布図による相関の検定と相関係数 |
| <input type="checkbox"/> データのとり方 | <input type="checkbox"/> 管理図の役割と種類 |
| <input type="checkbox"/> QC七つ道具 | <input type="checkbox"/> 管理図の作り方 |
| <input type="checkbox"/> グラフ&チェックシート | <input type="checkbox"/> 管理図の使い方・見方 |
| <input type="checkbox"/> パレート図 | <input type="checkbox"/> 層別 |
| <input type="checkbox"/> ヒストグラムの作り方・見方 | <input type="checkbox"/> 新QC七つ道具 |
| <input type="checkbox"/> ヒストグラムの分布の形・規格値との対比 | <input type="checkbox"/> 標準化と検査 |
| <input type="checkbox"/> 工程能力指数・ヒストグラムとの対比 | <input type="checkbox"/> 問題解決 |

品質管理セミナー

入門コース (2日間)



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 ライブ **動画**

参加費

一般 ￥53,900(税込)

維持会員 ￥46,200(税込)

品質管理、はじめの一步

2日間でQC七つ道具をマスター！

品質管理を初めて学ぼうとされる方に、品質管理の基本的な考え方とQC七つ道具を身につけていただくコースです。スタッフ・一般社員・事務系・技術系のいずれの方にも理解のしやすい講義と豊富なワークショップ（演習）により、短期間で品質管理の基礎をマスターできます！

プログラム 2日間 9:30~16:30

- | | |
|--|--|
| <p>第1日</p> <input type="checkbox"/> 品質管理とは
<input type="checkbox"/> 品質とは、管理とは
<input type="checkbox"/> QC的ものの見方・考え方
<input type="checkbox"/> データのとり方・まとめ方
<input type="checkbox"/> 品質管理とQC七つ道具
・グラフ/チェックシート
・特性要因図 | <p>第2日</p> <input type="checkbox"/> QC七つ道具(2)
・パレート図
・ヒストグラム/散布図
<input type="checkbox"/> QC七つ道具(3)
・管理図
<input type="checkbox"/> 工程の管理
<input type="checkbox"/> 問題解決と課題達成 |
|--|--|

品質管理セミナー

グローバル品質保証の進め方コース



開催地区

関東

北海道

東北

中部

関西

中国

四国

九州

ライブ

動画

参加費

一般 ￥36,300(税込)

維持
会員 ￥33,000(税込)

グローバルものづくりの進め方を指南

具体的な活動事例

製造メーカーでの海外生産比率は年々増加傾向にあり、形態も自社拠点からOEM、M&Aなどに多様化しています。その中で生産性や品質保証面などで様々な課題を抱え、海外からの撤退を余儀なくされている企業も出てきています。特に昨今パンデミックや海外情勢など幅広い課題への対応が必須となっています。

グローバルものづくり／QAの取り組み方や具体的な活動事例などを海外経験豊かな講師から演習も含めて教示します。

プログラム 1日間 9:30～16:30

- グローバルものづくりの必要性とリスク
- グローバル品質保証の進め方
 - ・事業タイプ別取り組み
 - ・グローバルQMS／マザー工場の取り組み
 - ・主要QA項目別具体的取組
＜品質リスク、工程管理、サプライヤQA、設計管理、品質監査＞
 - ・教育・人材育成
- 演習

品質管理セミナー

品質管理検定4級受検者のための
やさしく学ぶ良い“ものづくり”コース



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ¥20,900(税込)
維持会員 ¥18,700(税込)
学生 ¥6,600(税込)

✓ 新入社員教育に最適

✓ よいものづくりの基本の基本

QC検定4級の試験範囲を中心に、品質管理が重要とされる背景やより良い製品づくりのための心構えを講義するコースです。新入社員の方や、人材派遣企業などに登録されている派遣会社の方々などへの品質管理の初期導入教育として最適です。

プログラム 1日間 13:30~16:30

- 品質管理とは～企業における良い製品づくり
- 品質管理活動に関連する基礎知識
- より良い製品づくりのための心構えと行動

品質管理セミナー

動画版 品質管理検定4級受検者のための
レベル表対応コース



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ¥9,900(税込)
維持会員 ¥8,800(税込)

✓ 3時間の動画で手軽に受講

✓ QC検定4級レベルの知識を習得

QC検定4級の手引きを使用し、試験範囲を中心とした知識・内容を学べる、約3時間の動画です。PC・タブレット・スマートフォンがあれば、職場やご家庭でも手軽に学ぶことができます。これからQC検定4級を受検される方や、初めて品質管理について学びたい方など、ぜひご活用ください。

プログラム 約3時間

- 品質管理とは -組織における良い製品づくり-
- 品質管理活動に関連する基本知識
- より良い製品づくりのための心構えと行動

品質管理セミナー

品質管理検定3級受検者のための レベル表対応コース（2日間）



開催地区

関東
 北海道
 東北
 中部
 関西
 中国
 四国
 九州
 ライブ
 動画

参加費

一般 ¥59,400(税込)
 維持会員 ¥53,900(税込)

QC検定3級レベルの要点を捉える

実務で使えるQCの考え方を習得

QC検定3級受検者におすすめ！品質管理検定レベル表3級のポイントを事前学習・講義・理解度確認テスト・演習問題を通して習得していただくコースです。

品質管理の基礎から品質管理の意図を学び、品質管理のツールをQCストーリーに則り、リーダーの指示に従いながら改善を行うことができるレベルの知識を得られます。

注) 本コースでは、講師の経験談を通して品質管理の3級レベル表の意図を十分に理解することで、業務に活かせる知識を習得いただきます。

プログラム 2日間 9:30~17:30

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 品質基礎編
・理解度確認テスト（40分）解説
・品質の概念／管理の方法／QC的ものの見方・考え方
<input type="checkbox"/> 品質管理の実践編
・品質保証／方針管理／日常管理／標準化／小集団活動／人材育成／品質マネジメントシステム
<input type="checkbox"/> 品質管理の手法編
・データの取り方・まとめ方 | <input type="checkbox"/> 品質の手法編
・QC七つ道具
グラフ／パレート図／特性要因図／チェックシート／ヒストグラム／散布図／層別／工程能力指数／管理図
・新QC七つ道具
・統計的方法の基礎 |
|---|---|

品質管理セミナー

e-ラーニングで学ぶ 品質管理検定3級 受検者のためのレベル表対応コース



開催地区

関東
 北海道
 東北
 中部
 関西
 中国
 四国
 九州
 ライブ
 動画

参加費

一般 ¥29,700(税込)
 維持会員 ¥26,400(税込)

90日間で学ぶ **eラーニング**

QC検定3級レベルの知識を習得

★毎月開講★ PC・タブレット・スマートフォンがあればOK！いつでも、どこでも好きな時に学べる、QC検定3級レベル表に対応したeラーニングコースです。QC検定3級レベルの知識を、分かりやすい動画とテキストで学び、力試しの演習問題では理解度をチェックできます。これからQC検定3級を受検される方はもちろん、品質管理の基本を学びたい方など、ぜひご活用ください。

プログラム 視聴可能期間90日間

- | | | |
|--|--|---|
| <input type="checkbox"/> 品質管理とは
<input type="checkbox"/> 品質とは、管理とは
<input type="checkbox"/> QC的ものの見方・考え方
<input type="checkbox"/> データのとり方・まとめ方
<input type="checkbox"/> 品質管理とQC七つ道具
<input type="checkbox"/> 層別
<input type="checkbox"/> チェックシート
<input type="checkbox"/> グラフ | <input type="checkbox"/> パレート図
<input type="checkbox"/> ヒストグラム
<input type="checkbox"/> 散布図
<input type="checkbox"/> 特性要因図
<input type="checkbox"/> 管理図
<input type="checkbox"/> 品質保証
<input type="checkbox"/> 工程の維持管理
<input type="checkbox"/> 検査・計測 | <input type="checkbox"/> 標準化と社内標準化
<input type="checkbox"/> 新QC七つ道具
<input type="checkbox"/> 統計的手法の基礎
<input type="checkbox"/> 問題解決
<input type="checkbox"/> 全社的品質管理の推進 |
|--|--|---|

品質管理セミナー

入門講座（6日間）



開催地区

関東
 北海道
 東北
 中部
 関西
 中国
 四国
 九州
 ライブ
 動画

参加費

一般 ¥166,100(税込)

維持会員 ¥150,700(税込)

オプション：一般・維持会員とも
¥17,600 (税込)

リーダーに必要なQC知識の習得

現場でデータを活用する力を養成

背景にある考え方の理解を主眼においたカリキュラムで、6日間という短期間で効果的な学習をしていただけるコースです。採取したデータの読み方、活用の仕方などをしっかり考え、改善を自分でできる力量を習得しましょう。

※QC検定2級受検対策として、実験計画法、信頼性工学を学ぶオプションコース（1日・受講は任意）を開催します。

プログラム 6日間 9:30～18:00

※終了時間が異なる日程もございます。

- TQM の進め方
- データのまとめ方と活用 (Q7) <1>
- データのまとめ方と活用 (Q7) <2>
- 統計的検定・推定 <1>
- データのまとめ方と活用 (N7)
- 統計的検定・推定 <2>
- 実験計画法
- 信頼性工学
- ※受講は任意です。
- 相関・回帰分析
- 管理図の作り方と活用
- 宿題解説
- 社内標準化とその進め方
- サンプルングと抜取検査
- 修了試験
- プロセス品質保証とその進め方
- 管理・改善の進め方

品質管理セミナー

動画でわかる！はじめての統計的検定・推定コース

新規



開催地区

関東
 北海道
 東北
 中部
 関西
 中国
 四国
 九州
 ライブ
 動画

参加費

一般 ¥8,800(税込)

維持会員 ¥7,700(税込)

難しくない！統計の世界へようこそ

数式をつかわず解説・スッキリ理解

統計的検定と推定は、データ分析において非常に重要な手法ですが、難しい数式が多く敷居が高いと感じる方も多いのではないのでしょうか？本動画では、そのような心配を解消するために難しい数式を一切使わずにこれらの概念をわかりやすく解説します。

とてもわかりやすく統計的検定・推定の概念について基礎を解説！平均値、メディアン、平方和、分散、標準偏差、計量値と計数値の計算に不安がある方も、予備知識編で復習できるので安心して受講できます。

プログラム (約7時間)

- 予備知識
 - ・基本統計量の知識
- 正規分布の性質
 - ・正規分布の性質 <1>
 - ・正規分布の性質 <2>
- 統計的検定・推定
 - ・母平均の検定と推定
 - ・母分散の検定と推定
 - ・計数値の分布～二項分布とポアソン分布～
 - ・計数値の検定と推定～二項分布～

品質管理 通信講座

通信講座による品質管理入門コース



開催地区

全国すべての地区から
申込できます

参加費

一般	¥33,000(税込)
維持 会員	¥29,700(税込)

✓ わかりやすく、充実のテキスト！

✓ 丁寧な通信指導でしっかり習得

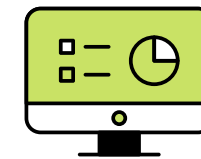
品質管理の基礎知識と問題解決に役立つQC手法を習得する通信講座です。わかりやすいと評判のテキストと経験豊富な講師陣の丁寧な添削指導で、3か月の期間で無理なく知らず知らずのうちに、QC検定3級レベルの知識を身につけることができます。

✓ Point



テキストは図解などを多く取り入れ、初めて品質管理を学ぶ方にも理解しやすいように構成しています。各レッスンの見出しには、学習月・学習時間・学習レベルを記載し、学習計画の目安にすることができます。また、豊富な演習問題や参考事例によって、理解を深め実践力を養います。

[文部科学省認定]



プログラム

品質管理検定(QC検定)3級レベル対応

第1
月
目

- 品質管理とは
- 品質とは、管理とは
- QC的ものの見方・考え方
- データのとり方・まとめ方
- 品質管理とQC七つ道具
- 層別
- チェックシート
- グラフ
- パレート図 [レポート課題]

第2
月
目

- ヒストグラム [レポート課題]
- 特性要因図
- 散布図

第3
月
目

- 管理図
- 工程の維持管理
- 標準化と社内標準化
- 統計的方法の基礎
- 全社的品質管理の推進
- 品質保証
- 検査・計測
- 新QC七つ道具
- 問題解決 [レポート課題]

対象

- 品質管理をはじめて学ぶ方
- QC検定3級を受検しようとお考えの方
- 短期間でQCの基礎を身につけたい方

品質管理 通信講座

通信講座による品質管理中級コース



開催地区

全国すべての地区から
申込できます

参加費

一般	¥53,900 (税込)
維持 会員	¥48,400(税込)

- ✓ 品質管理をリードする人材を養成
- ✓ 実践で役立つ力量を通信で習得

問題解決の即戦力となる力、品質管理をリードできる能力を養うために、様々な統計的手法に加え、問題解決力・改善力など実践に役立つ力量も習得できる通信講座です。QC検定2級の範囲を網羅しているため、QC検定2級の勉強にもおすすめです。

✓ Point

テキストは1か月分の学習内容を1冊にまとめ、4か月間で計画的に学習を進めていただけるように構成しています。各レッスンの最初には、「ねらい」を明記し、学習するポイントや全体像を掴むことができます。覚えてほしい重要な用語・公式には、見やすく色をつけています。また、章末には演習問題があり、学習内容の理解度を確認することができます。



[文部科学省認定]



プログラム

品質管理検定(QC検定)2級レベル対応

第1
月目

- ・品質管理の基本 / ・管理と改善
 - ・品質管理とデータ / ・基本統計量と分布
- [レポート課題1]

第2
月目

- ・検定・推定 / ・統計的工程管理
 - ・標準化 / ・品質保証とその進め方
- [レポート課題2]

第3
月目

- ・実験計画法 / ・検査・試験
 - ・新QC七つ道具 / ・品質機能展開
- [レポート課題3]

第4
月目

- ・相関・回帰分析 / ・信頼性工学
 - ・問題解決 / ・品質マネジメントシステム
- [レポート課題4]

対象

- ・ QC検定2級を受検しようとお考えの方
- ・ 品質管理をリードする次世代の若手スタッフの方
- ・ 問題解決に自立的に取り組みたい方

品質管理セミナー

Excelを利用した QC七つ道具活用コース



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西

中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ¥40,700(税込)

維持
会員 ¥36,300(税込)

✓ 役立つExcel解析シート

✓ QC七つ道具をPCで効率活用

問題解決を進めるにあたり、よく使われるQC七つ道具について、Excelを使用した活用方法をわかりやすく解説するコースです。パソコンを使った演習により職場に戻ってすぐに実践の場で活用することができます。また、講義で使用したExcel解析シートはUSBでお持ち帰りいただけます。QC七つ道具を効率的に活用しましょう。

プログラム 1日間 9:30~16:30

- Excel利用のQC七つ道具
 - ・ QC七つ道具の概要
 - ・ 円グラフ、ヒストグラム、散布図の作成実習
 - ・ その他のQC七つ道具の作成概略
- QC七つ道具の活用
 - ・ エックスバーアール管理図の活用など
- QC七つ道具の活用と展開

※ノートパソコンは無償貸与いたします。

品質管理セミナー

新QC七つ道具活用コース (2日間)



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西

中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ¥69,300(税込)

維持
会員 ¥62,700(税込)

✓ 2日間で新QC七つ道具マスター

✓ 課題達成に役立つQC手法を体感

問題解決のみならず、課題達成に役立つQC手法として開発された「新QC七つ道具」を短期間で体得していただくコースです。演習が多く、初めて新QC七つ道具を勉強される方にもおすすめです。連関図法、系統図法、PDPC法といった実務に役立つ手法にも重点を置いた講義で、職場ですぐに実践できます。言語データを整理・解析・発想し、問題解決に役立つ品質管理手法である新QC七つ道具で品質管理の充実化を！

プログラム 2日間 9:30~18:00 (2日目: 9:30~17:00)

- | | |
|--|--------------------------------------|
| 第1日 | 第2日 |
| <input type="checkbox"/> QC的問題解決とN7 | <input type="checkbox"/> 系統図法 |
| 新QC七つ道具と言語データ | <input type="checkbox"/> マトリクス図 |
| <input type="checkbox"/> 親和図法 | <input type="checkbox"/> アロー・ダイヤグラム法 |
| <input type="checkbox"/> 連関図法 | <input type="checkbox"/> PDPC法 |
| <input type="checkbox"/> マトリックス・データ解析法 | |

品質管理セミナー

不良・不具合再発防止のためのなぜなぜ
分析の進め方コース（基礎コース）



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ￥34,100(税込)

維持
会員 ￥30,800(税込)

✔ 「なぜなぜ」で問題の真因を把握

✔ 有効な分析で現状打破

「なぜなぜ分析」をどのように活用・実施していくのか、上手く進めるポイントや注意点、なぜなぜ分析活用シートを活用した演習を中心にわかりやすい事例を交えながら進めていくコースです。不良・不具合を再発させないためには、今までの考えを変え、問題を一つずつしっかりと原因を追究し、真因を掴みそれについて対策を打つことが必要です。誰もが簡単に行うことができる「なぜなぜ分析」の活用で現状打破を試みましょう。

プログラム 1日間 9:30～16:30

- 再発防止の重要性
- なぜなぜ分析の実施
- ヒューマンエラー問題の再発防止の進め方
- 「なぜなぜ分析」演習

品質管理セミナー

不良・不具合再発防止のためのなぜなぜ
分析の進め方コース（上級コース）



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ￥41,800(税込)

維持
会員 ￥38,500(税込)

✔ なぜなぜ分析の活動レベル向上

✔ 個別再発防止から類似再発防止

なぜなぜ分析研究会の活動成果である「再発防止10訓」を多くの企業事例と共にご紹介し、更に演習を通じて再発防止策を引き出す改善力を養うコースです。

「なぜなぜ分析を導入して5年も経つのに再発問題が減らず、真因まで行き着かない」「類似再発防止まで展開ができない」などとお悩みの方におすすめで

プログラム 1日間 9:30～16:30

- なぜなぜ分析の導入成功例／苦勞例
- なぜなぜ分析／再発防止10訓
- 個別再発防止～類似再発防止への展開演習
- 各自の困りごとの交流と解決策検討

品質管理セミナー

品質機能展開コース (2日間)



開催地区

関東

北海道

東北

中部

関西

中国

四国

九州

ライブ

動画

参加費

一般 ¥66,000(税込)

維持
会員 ¥59,400(税込)

QFDの演習を通じて正しく理解

品質保証実現や開発に効力

QFDの原理は単純なものですが、その原理を正しく理解すれば、その応用は様々に考えられます。例えば、確実な品質保証を実現するためにや、開発段階からの設計品質の設定、新製品の開発のためにも効力を発揮します。QFDの様々な使われ方を理解し、「品質機能展開の構想図」の重要性を学び、演習で実際に手を動かすことでさらに理解が深まります。開発・設計の源流部門から生産段階までの、様々な部門の方を受講対象しており、計算された講義と演習を通して明日から自社で活用できるようにトップ講師が導きます。

プログラム 2日間 9:30~16:30

第1日

- QFD概論
- 事例紹介
- QFD演習

第2日

- QFD構想図の必要性
- 演習 演習テーマの決定及びQFD構想図の作成
- 演習 QFD構想図の作成及び事例検討

品質管理セミナー

小集団活動実践コース



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ¥29,700(税込)

維持会員 ¥26,400(税込)

小集団活動でやる気を刺激

活発で効果的な活動のヒント

本コースでは自社で小集団活動を行うことになったメンバーの皆様に、小集団活動の基本やテーマ決めなど実際の進め方の手順、そしてメンバー達の小集団活動をサポートする管理者・推進者の皆様が出来る支援・指導について学んで頂けます。

テキストの他に講師からより良い小集団活動を実践していくための事例やヒントをお話します。小集団活動を通してひとりひとりのやる気向上、そして職場の活性化や成長を目指しましょう！

プログラム 1日間 9:30~16:30

- 品質管理とは
- 小集団活動の基本
- 小集団活動の推進組織と役割
- 小集団活動の進め方
- 小集団活動における管理者の具体的な役割
- 問題解決の進め方／事例検討

品質管理セミナー

見える化の基本的考え方と活用のポイントを学ぶコース



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ¥33,000(税込)

維持会員 ¥29,700(税込)

知っていそうで知らない見える化

自己流脱却でさらなる有効活用

『見える化』の基本を学ぶとともに事例を交えながら、見える化の基本的考え方、活用のポイントや落とし穴を理解していただくコースです。『見える化』を実践するためのベース作りを目指し、見える化の組織的推進と人材育成に役立てましょう。

本コース受講者には日本規格協会より出版された『見える化があなたの会社を変える～効果の上がる見える化の理論と実践～』を副読本としてお渡しします。

プログラム 1日間 9:30~16:30

- 見える化の基本的考え方
- 見える化の手段
- 見える化の効果的活用のポイント～事例に学ぶ
- 見える化の組織的推進
- 見える化のための人材育成

品質管理セミナー

“品質保証のための” 工程管理のしくみづくりと運用コース（2日間）



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西

中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ¥71,500(税込)

維持会員 ¥64,900(税込)

現場自らが考え、工夫するしくみ

悪しきブラックボックス化を打破

現場の立場に立った“工程管理のしくみの構築と運用”の基本事項とポイントを講義・演習を通じて身につけるコースです。現場で品質を保証するために、体系化された工程管理のしくみの構築と運用が、今まさに求められています。

プログラム 2日間 9:30～16:30

第1日

- しくみづくりの必要性
- 工程管理のしくみづくりのステップ
- 製造工程における管理点の整備
- 演習（工程管理方法検討）

第2日

- QC工程表作成のポイントと活用
- 工程FMEAと設備FMEA
- 品質マトリックスによる自己完結の検証
- 作業標準とその作成ポイント
- 工程の管理と解析

品質管理セミナー

顧客満足を勝ち取る！ 検査体制構築コース



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西

中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ¥71,500(税込)

維持会員 ¥64,900(税込)

検査体制構築に最低限必要な考え方を身につける

検査に不可欠な手法等の考え方を学習

顧客から信頼のおける組織を目指すために、ものづくり産業として何をすべきか、不適合を流出させないためにどういった体制の構築が必要かについて、検査の基本から検査体制構築の考え方、抜取検査手法など実務・実益に結びつく内容を盛り込んだコースです。

本コースは不適合品流出防止のための検査体制構築コースからのリニューアルコースで、検査そのものの考え方、検査体制構築の内容を旧コースよりも充実させています。

プログラム 2日間 9:30～16:30

第1日

- 検査の基本
- 検査の資源
- サンプルング
- 品質保証における検査の役割
- 検査体制構築とは
- 検査体制構築の実務

第2日

- 抜取検査の基礎
- 抜取検査各論Ⅰ 規準型抜取検査
- 抜取検査各論Ⅱ AQL指標型抜取検査
(調整型抜取検査)

品質管理セミナー

新入社員・若手社員のための 問題解決コース（2日間）



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ¥68,200(税込)
維持会員 ¥61,600(税込)

問題の発見と解析力の学習

Excelの活用でノウハウ習得

分かりやすい事例と、Excelの活用によって、問題を解決するノウハウを身につけるコースです。講義に加え、幅広い業種の方々とのグループ演習を通じて、「発想力」や「コミュニケーション力」「プレゼンテーション力」を体得していただきます。

プログラム 2日間 9:30～16:30

- | | |
|---|---|
| 第1日 | 第2日 |
| <input type="checkbox"/> 仕事とは…「業務」と「改善」 | <input type="checkbox"/> 問題を解決するアイデアを発想する |
| <input type="checkbox"/> 問題を発見する | <input type="checkbox"/> 大勢の前でのプレゼンテーション |
| <input type="checkbox"/> 問題の状況をつかむ | |
| <input type="checkbox"/> 問題の原因を探る | |

※会場でご参加の方にはPCを準備いたします。
※ライブ配信でご参加の方は、マイクロソフトExcelが使用できるPCをご準備ください。

品質管理セミナー

品質保証・現場で役立つ スタートコース



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ¥29,700(税込)
維持会員 ¥26,400(税込)

新たに品質保証部門や工場で活躍される皆様に！

業務で必要な最低限の知識・用語を1日で習得！

これから品質保証部門や工場で活躍される方に必要な最低限のQC知識を1日で学ぶコースです。品質保証に必要な品質管理や生産管理の基礎知識を教え、効率的に仕事を進めるための「計画」・「標準」についての解説・指導をします。

品質保証部門や業務に新たに携わるベテラン社員、新入社員の皆様におすすめいたします。ものづくりの過程で必要となる基本を身につけ、現場で活躍できる人材になりましょう。

プログラム 1日間 9:30～16:30

- 社会人・組織人としての必要なこと
- 生産部門に大切なチームワークとマナー
- 品質管理とは～企業における良い製品づくり
- 品質管理活動に関連する基礎知識
- より良い製品づくりのための心構えと行動
- 生産管理とは
- 安全の考え方、仕事の進め方

品質管理セミナー

体験型問題解決コース



開催地区

関東

北海道

東北

中部

関西

中国

四国

九州

ライブ

動画

参加費

一般 ￥33,000(税込)

維持会員 ￥29,700(税込)

グループ討論形式の演習で体験

改善チームのリーダーの方に最適

本コースは、問題解決の手順、問題解決への取り組み方、問題解決に適用する手法、再発防止策と管理のあり方などについて演習を通し、体験することで理解することができます。

演習の題材は、誰にも理解しやすい汎用的な事例を使用していますが、受講者の業種業態にも適用できるように工夫されており、必要なデータや解析結果は講師から提供され、それについてグループ討論を行う形式で進めていきます。

プログラム 1日間 9:30~17:00

- オリエンテーション
- 【講義】 演習に必要な基本知識
 - ・ 問題解決の手順/統計的な考え方
 - ・ QC七つ道具の特徴と用途
 - ・ 新QC七つ道具の特徴と用途
 - ・ なぜなぜ分析/標準化
- 【演習】 テーマの選定
- 【演習】 現状の把握と目標の設定
- 【演習】 要因の解析
- 【演習】 対策の検討
- 【演習】 対策の実施
- 【演習】 効果の確認
- 【演習】 標準化と管理の定着
- 【講義】 振り返り

品質管理セミナー

“品質コンプライアンス問題を防ぐために”

【①品質マネジメント基礎編】

新規



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西

中国 四国 九州 **ライブ** 動画

参加費

一般 ￥14,300(税込)

維持会員 ￥11,000(税込)

✓ 自組織での品質不正を防ぐために

✓ 品質マネジメントの活かし方を学ぶ

事例から品質コンプライアンス問題（品質不正）に至った要因やメカニズムを理解し、品質コンプライアンス問題を防ぐ品質マネジメントの活かし方を、『5つの視点』で学んでいただきます。

プログラム 半日 13:00～17:00

第1章 品質コンプライアンス問題を、知る	第3章 品質コンプライアンス問題を、防ぐ
1.1 品質コンプライアンス問題とは	3.1 品質マネジメントを活かす
1.2 品質コンプライアンス問題発生の実態	3.2 活かすための『5つの視点』
1.3 品質コンプライアンス問題の事例	1) 意識：コンプライアンスや品質の意識を高める
	2) リスク：リスクを想定し、リスクに応じて対処する
第2章 品質コンプライアンス問題を、解明する	3) 牽制：内部監査をうまく機能させる
2.1 事例から見えてくる、共通の要因	4) 改善：問題点を見つけ、是正する
2.2 品質コンプライアンス問題発生メカニズム	5) 組織：組織として、役割・責任を果たす

品質管理セミナー

“品質コンプライアンス問題を防ぐために”

【②実践ケーススタディ編】

新規



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西

中国 四国 九州 **ライブ** 動画

参加費

一般 ￥15,400(税込)

維持会員 ￥12,100(税込)

✓ 品質不正を生まない職場へ

✓ ケーススタディで実践力を高める

実際に起こった品質コンプライアンス問題をモチーフにしたケーススタディを用い、「自分ならどう考え、どう行動するか？」をグループ討議していただきます。このケーススタディ（体験学習）を通じて“自分ごととして捉え”、そして“自組織では本当に大丈夫なのか？”を考えることで、品質不正を生まない職場づくりの実践力を高めていただきます。

プログラム 半日 13:00～17:00

第1章 問題の実態	そして、自分ごととして捉えることで“私の組織では本当に大丈夫なのか？”を振り返っていただきます。
・品質コンプライアンス問題の実態	
調査結果に基づく再発防止策の内容とは	
第2章 ケーススタディで考える	第3章 実践に向けて
・ケーススタディ（体験学習）を通じて、「なぜ起った？」、「どうすれば防げた？」、「あなたならどうする？」の観点で検討、意見交換をしていただきます。	・現状の把握をすることで、今後の行動を考えていただきます。 (参考) セルフチェックシート

実践！データ分析講座

ライブ型オンデマンド配信 I データ分析：基礎編



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ¥66,000(税込)

維持会員 ¥59,400(税込)

✓ データ分析で業務改善を実現

✓ 手法の使い分けや連携を詳解！

品質管理や品質設計で用いる基本的な統計手法(検定・推定、回帰分析、実験計画法)を学ぶコースです。単なる個別手法の説明ではなく、どのような場面でどのように活用するか、各手法の使い分けや手法間の連携を意識して解説します。

プログラム 2日間(12時間)相当 / 視聴期間：20日間

- 統計的方法の基礎 ～検定・推定～
- 統計的方法の基礎 ～1元配置分散分析～
- 統計的方法の基礎 ～2元配置分散分析～
- 実験計画法の基礎 ～分散分析とロバスト設計の考え方～
- 回帰分析の基礎 ～単回帰分析・重回帰分析～
- ダミー変数を用いた回帰分析

実践！データ分析講座

ライブ型オンデマンド配信 II 品質管理



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ¥66,000(税込)

維持会員 ¥59,400(税込)

✓ QCのための統計的手法を習得

✓ QCストーリーで実践的に理解

品質管理における統計的手法を問題解決型QCストーリーに基づいて解説するコースです。「現状を把握した上で要因分析、対策の立案、有効性の検討、そして確認実験を経て標準化して管理する」という品質管理活動において、必要な統計的品質管理を解説します。

プログラム 2日間(12時間)相当 / 視聴期間：20日間

- 品質管理概論
- QC手法の基礎 ～QC七つ道具～
- 管理図による統計的工程管理
- 統計的品質管理 ①問題解決型QCストーリー
- 統計的品質管理 ②工程能力分析
- 統計的品質管理 ③工程の管理と解析

実践！データ分析講座

ライブ型オンデマンド配信 Ⅲ 品質工学（タグチメソッド）



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ￥66,000(税込)

維持会員 ￥59,400(税込)

✓ 設計・開発における実験データの分析を解説

✓ 実験計画法との違いも詳しく解説

田口玄一博士によって提唱された、タグチメソッドを解説するコースです。ユーザが使用する条件を意図的に実験に取り入れ、より頑健(ロバスト)な条件を求める方法を身につけ、製品の設計・開発の場で、利用できるようになることを目指します。

プログラム 2日間(12時間)相当 / 視聴期間: 20日間

- 実験計画法とロバスト設計の使い分け
- 要因実験・直交表実験とそのデータ分析
- 設計開発段階における実験計画法 ～タグチメソッド～
- タグチメソッド① 望目特性のロバスト設計
- タグチメソッド② 望大特性のロバスト設計
- タグチメソッド③ 動特性のロバスト設計

実践！データ分析講座

ライブ型オンデマンド配信 Ⅳ 実験計画法：応用編



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ￥77,000(税込)

維持会員 ￥69,300(税込)

✓ シミュレーション実験の効率化

✓ 技術・研究開発の効率UPを体感

実験計画法の応用編として、量的な因子を取り上げ、効率的に良い条件を求めるための手法として知られる応答曲面法、さらに近年、技術開発の場で盛んに用いられているコンピュータ実験について解説するコースです。

プログラム 2日間(12時間)相当 / 視聴期間: 20日間

- 実験計画法 ～応答曲面解析～
- 実験計画法 ～中心複合計画による応答曲面法～
- 満足度関数を用いた多特性最適化
- 信号因子がある場合の応答曲面法
- コンピュータ実験の計画と解析
- 決定論的モデルによるコンピュータ実験

実践！データ分析講座

V 多変量解析



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ¥66,000(税込)

維持会員 ¥59,400(税込)

✔ 多変量データを可視化する要約法

✔ 豊富なグラフで分析手法を解説

様々な業務の中で得られた多変量データを可視化して意思決定に活かすグラフィカル・データ要約法と、複雑な現象を測定した多変量データを使った将来の予測法について、PCを利用して学習するコースです。以下のプログラムに示すデータ要約方法を豊富なグラフを用いて解説します。また、多変量データをスクリーニングする決定分析、非線形モデルのニューラルネットワーク、正確な寿命や劣化予測の解析などの予測モデルを身につけます。

プログラム

- データの要約
 - ・ 集団の分解(クラスタ分析)
 - ・ 個体の識別(判別分析/外れ値分析)
 - ・ 変数の分類(主成分分析)
 - ・ 質的情報の鳥瞰(対応分析)
- 予測
 - ・ 予測の基本(重回帰分析)
 - ・ 樹形モデルの扱い方(決定分析)
 - ・ 非線形モデルの使いこなし(ニューラルネットワーク)
 - ・ 時間データの予測(ワイブル回帰分析/劣化分析)
- 【演習】 JMPによる多変量解析

統計セミナー

Excelによるデータ分析 入門

新規



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ¥66,000(税込)

維持会員 ¥59,400(税込)

✔ 数式を使わずに統計学の考え方を解説

✔ Excelを用いて効率よく学習

t検定や回帰分析など個別手法を手計算で学んだけれども、結局あれはいったい何だったのだろうと首を傾げる方は少なくはないのではないでしょうか。本セミナーは誰でも分かるように難しい数式は極力避け、Excelを用いて実際に手を動かしながら統計的手法を解説します。どのような条件のもと、どのような場面で利用できるかを体系的に理解でき、ビジネスで活用できる統計思考力が身につきます。

プログラム

2日間(12時間)相当

- 平均と分散 - データを要約して情報を把握する -
- ヒストグラムと散布図 - データを視覚的に把握する -
- 統計的推定 - データによって全体を推論する -
- 統計的検定 - データに基づいて統計的に判定する -
- 実験計画法 - 計画的にデータを採取し調べる -
- 回帰分析 - 複数の変数を用いて予測する -

信頼性セミナー

信頼性技術入門コース (2日間)



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ¥59,400(税込)
維持会員 ¥53,900(税込)

✓ 信頼性技術者の育成セミナー

✓ 基本から信頼性の全貌をマスター

信頼性技術の基本を学びたい方を対象に、信頼性の概念から信頼性手法、未然防止に役立つツールなど、信頼性の全貌を演習を交えて効率よくマスターするコースです。技術開発の源流における信頼性のつくり込み、評価・試験さらには市場からの故障のフィードバックなどを解説します。

プログラム 2日間 9:30~16:30

- | 第1日 | 第2日 |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 信頼性の意義と歴史 | <input type="checkbox"/> 信頼性データの解析 |
| <input type="checkbox"/> 信頼性の尺度と数理 | <input type="checkbox"/> 信頼性試験 |
| <input type="checkbox"/> 信頼性モデル | <input type="checkbox"/> 故障解析 |
| <input type="checkbox"/> 信頼性設計と信頼性保証プログラム | <input type="checkbox"/> 未然防止に役立つツールと活用法
(FMEA/FTAなどのツールのキーポイントを紹介) |

信頼性セミナー

FMEA・FTA入門コース (2日間)



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ¥75,900(税込)
維持会員 ¥68,200(税込)

✓ FMEA・FTAをくわしく解説

✓ 問題の潰込みで確実な信頼性確保

信頼性確保に有効なFMEA・FTAの考え方、実施方法について、演習中心に分かりやすく解説するコースです。FMEA・FTAを活用し、設計段階から試作・試験段階、工程・設備において徹底的に要注意部を洗い出し、問題の潰し込みを行い、確実に信頼性を確保することが重要です。

プログラム 2日間 9:30~16:30

- | 第1日 | 第2日 |
|---------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 信頼性とFMEA・FTA | <input type="checkbox"/> FMEAとは |
| <input type="checkbox"/> FMEA・FTAとは | <input type="checkbox"/> FMEA演習 |
| <input type="checkbox"/> FTA演習 | <input type="checkbox"/> FMEA実践演習 |
| <input type="checkbox"/> FTA実践演習 | <input type="checkbox"/> FMEA・FTAと品質保証 |
| <input type="checkbox"/> 総合質疑 | <input type="checkbox"/> 総合質疑 |

信頼性セミナー

デザインレビュー入門コース



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ¥35,200(税込)

維持会員 ¥31,900(税込)

デザインレビューの基本を習得

9001やPL法対応も解説

デザイン・レビューの必要性、上手に進めるコツ、QMSやEMSへの対応、製品安全リスクマネジメントに対してどうあるべきかなどの観点から新製品開発を、機敏に、品質トラブルをなくして進めるために、技術者・管理者・審査員の各視点から、豊富な事例を含め、具体的に解説するコースです。

プログラム 1日間 9:30~16:30

- DRの具体的な進め方
- ISO9000シリーズに対応したDR
- 製造物責任法（PL法）
- 環境マネジメントに対応したDR
- 新製品開発と設計管理
- DR実施の効果
- これからの課題とDRのあり方

信頼性セミナー

動画版 デザインレビュー／DRBFM 入門コース



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ¥14,300(税込)

維持会員 ¥13,200(税込)

もう一歩先へ、DRBFMを学習

潜在的な問題点発見で未然防止

お客様目線からの品質管理と信頼性の関わりや、問題発見に着目した未然防止手法としてモノづくり現場で実践するFTA、FMEA、隠れた問題に気づき具体的対策を行う創造的Design Review、DRBFMについて解説します。約3時間の動画研修の受講で設計に起因の品質問題に悩む設計技術者の皆様に、DRBFMの要点を短時間で効率良く学んでいただけるコースです。

プログラム 約3時間

- 度重なる事故、大問題の発生
- よりよい製品をつくるために
- 品質革新へのアプローチ
- 未然防止とは
- 未然防止の基本的な考え方、GD3
- 未然防止のための着眼点
- 創造的Design Reviewのすすめ
- 未然防止のための実践手法
(製品開発における創造的DR・DRBFMの進め方)
- 創造的Design ReviewDRBFMの具体的な実践手法
- 創造的Design Reviewの仕組みと仕掛け
- まとめ

信頼性セミナー

動画版 JMPによる信頼性データ 解析と正確な寿命予測 =従来の方法からの脱却=



開催地区

関東

北海道

東北

中部

関西

中国

四国

九州

ライブ

動画

参加費

一般 ¥66,000(税込)

維持
会員 ¥59,400(税込)

✓ 伝統的手法で不十分な部分を解説

✓ 信頼性基礎と多種の寿命予測方法

製品の寿命予測方法や信頼性向上について、デモ（実演）とケーススタディを豊富に取り入れ、わかりやすく体系的に解説します。寿命を予測するための基礎的な知識に加え、実使用環境下、部品劣化時、修理後、要因組み合わせなど、様々な寿命予測方法を解説します。さらに、加速試験による寿命予測や設計段階の信頼性向上などの説明も加えます。伝統的な手法の問題点や間違った使い方も取り上げながら、最新の信頼性評価方法を解説します。

プログラム

<前半>

- ・寿命データの分析とJMPの機能
- ・一変量の分布
- ・寿命の二変量の関係
- ・加速試験のデータ分析

<第1回交流会>

- ・宿題解説／質疑応答／信頼性トーク

<後半>

- ・ステップストレス試験のデータ分析
- ・劣化や破壊データの分析
- ・修理系システムの傾向分析
- ・信頼性向上活動の評価
- ・寿命データの多変量解析

<第2回交流会>

- ・宿題解説／質疑応答／信頼性トーク

人材育成セミナー

職場の管理・改善が実践できる リーダー育成コース

【①基礎編】

新規



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 **ライブ** 動画

参加費

一般 ￥20,900(税込)

維持会員 ￥18,700(税込)

✓ 人を活かし、職場を動かす

✓ 管理・改善を実践する基礎を学ぶ

職場のリーダーに求められるのは、人を活かし、組織として成果を出し、改善を継続できる力です。しかし現場では、多くのリーダーが同じ悩みを抱えています。このコースでは、これらの課題を解決するために、職場リーダーとして必要な考え方・マネジメントの基礎・改善の視点を学びます。また、日々の業務で使える管理ツールや改善手法の事例を通じて、明日から実践できる“職場運営の基礎力”を学んでいただきます。

※リニューアル！【①基礎編】【②実践ケーススタディ編】と半日ずつの開催となりました。

プログラム 半日 13:00～17:00

第1章 リーダーに求められるもの
リーダーに求められるものとは何かを理解し、職場や自らの課題を振り返ります。

①職場の現状とは ②職場リーダーの役割とは ③自らを知る

考えてみよう：現状の課題と向き合う

第2章 リーダーに必要な知識・スキル

職場をまとめて成果につなげるために必要な考え方・知識・スキルを学びます。

①リーダーシップ ②マネジメント ③人材育成
④コミュニケーション ⑤改善

考えてみよう：自らのスキルマップは？

第3章 役立つツール・事例

日々の業務に役立つ管理ツールや現場での改善手法の事例を学びます。

①管理ツール ②改善手法

考えてみよう：何が使える？

人材育成セミナー

職場の管理・改善が実践できる リーダー育成コース

【②実践ケーススタディ編】

新規



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 **ライブ** 動画

参加費

一般 ￥20,900(税込)

維持会員 ￥18,700(税込)

✓ 管理・改善ができるリーダーへ

✓ ケーススタディで実践力を養う

職場のリーダーに求められるのは、人を活かし、組織として成果を出し、改善を継続的に進められる力です。このコースでは、実際の職場で起きる改善が進まない・指示が伝わらない・人が育たないなどの場面を題材としたケーススタディを通じて、リーダーシップ・マネジメント・人材育成・コミュニケーション・改善の視点で体験的に学習し、「私の行動計画書」を作成し、学びを具体的な行動へつなげていただきます。

※リニューアル！【①基礎編】【②実践ケーススタディ編】と半日ずつの開催となりました。

プログラム 半日 13:00～17:00

第1章 課題を把握する
リーダーに求められるものとは何かを理解し、職場や自らの課題を振り返ります。

・職場の課題、私の課題を把握する。
・課題の要因を分析する。

考えてみよう：課題とは？（職場の課題、私の課題）

第2章 ケーススタディで学ぶ

ケーススタディを基に、「この場合、私だったらどうする？」の視点で検討、意見交換することで、

リーダーに必要な下記の実践力を深掘りしていただきます。
①“リーダーシップ”を伸ばす ②“マネジメント”を活かす
③“人”を育てる ④“コミュニケーション”をとる
⑤“改善”を進める

第3章 現場で活かす
現状を踏まえ、明日から実践できる行動計画に落とし込みます。

考えてみよう：「私の行動計画書」を作成しよう

現場の管理と改善セミナー

作業標準コース



開催地区

関東
 北海道
 東北
 中部
 関西
 中国
 四国
 九州
 ライブ
 動画

参加費

一般 ¥33,000(税込)

維持会員 ¥29,700(税込)

これからの時代の作業標準づくり

作成から活用、維持管理まで学習

ものづくりにおいて良い品を安定的に安く、安全に製造するためには作業の標準化、そしてそのマニュアルとなる作業標準が最も重要になると言えます。しかし全員に活用して貰える作業標準書の作成や維持・改善に伴う見直しなど考えるポイントが多く存在します。

本コースでは作業標準の基礎的事項を理解した上でその作成方法や社内へ徹底させる方法、自己診断によって維持・改善に必要なポイントを事例交えて講義します。

プログラム 1日間 9:30~16:30

- 現場の管理と改善への道—今求められるものとは—
- 品質向上と作業標準
- 作業標準とは
- 原価低減と作業標準
- 作業標準作成のポイント
- そのほかの諸管理と作業標準
- 作業標準の教育徹底・活用のポイント
- これからの作業標準とそのあり方
- 作業標準と管理・監督者の役割
- 作業標準の自己診断
- 管理のポイントと作業標準

現場の管理と改善セミナー

5Sコース



開催地区

関東
 北海道
 東北
 中部
 関西
 中国
 四国
 九州
 ライブ
 動画

参加費

一般 ¥33,000(税込)

維持会員 ¥29,700(税込)

5S活動のハイレベル化！

経営に貢献する5Sを習得

多くの現場に置いて導入されている“5S活動”は経営の根幹を成すものであり、特に品質向上や納期短縮に欠かすことができない技法です。

本コースでは5S活動が企業にどのような影響を及ぼすかを正しく理解し、経営貢献可能な真の5S活動の実践方法・ハイレベル化を目指すために必要な考え方を学ぶコースです。

経営に与える貢献度が評価できるような5S診断技法や失敗例や成功例も紹介します。

プログラム 1日間 9:30~16:30

- 現場の管理と改善への道—今求められるものとは—
- 製造業と5S活動
- KAIZEN活動と5S活動
- 5Sの進め方
- 5Sの診断
- 5Sと格闘している現場の改善事例

現場の管理と改善セミナー

目で見える管理コース



開催地区

関東
 北海道
 東北
 中部
 関西
 中国
 四国
 九州
 ライブ
 動画

参加費

一般 ¥33,000(税込)

維持会員 ¥29,700(税込)

見える化で自主性UP!

成功ステップをわかりやすく解説

「目で見える管理」とは企業内の情報を「見える化」することです。利益管理に至る企業活動に必要な情報を「目で見える管理化（見える化）」することで、思いがけないムダの発見や改善するための行動の起点になります。

本コースでは企業の現場における「目で見える管理」が成功するためのステップをポイントを踏まえつつ解説し、「目で見える管理」が進展する製造現場の過程を事例を用いて学びます。

プログラム 1日間 9:30~16:30

- 現場の管理と改善への道—今求められるものとは—
- 目で見える管理とは何か
- 目で見ることの大切さ
- 何を目で見える管理とするのか
- 現場の“目で見える管理”が成功するステップとその中身
- 職場の目で見える管理を成功させるには
- 目で見える管理（見える化）が進展する製造現場の改善事例

現場の管理と改善セミナー

ポカヨケコース



開催地区

関東
 北海道
 東北
 中部
 関西
 中国
 四国
 九州
 ライブ
 動画

参加費

一般 ¥33,000(税込)

維持会員 ¥29,700(税込)

ポカヨケで職場環境活性化実現

理論的にポカヨケ学習

”ポカミス”は職場での「不注意」、「勘違い」、「不慣れ」、「疲労」の人的要素と「あいまい」、「乱雑」、「使いにくさ」などの作業環境に起因します。これらを防ぐために、ポカヨケは重要な手段の一つです。本コースでは“ポカミス”の原因の除去・拡大防止の考え方と社内での工程全体のポカヨケ構築のための手順を事例を用い講義するコースです。ポカヨケを推進して100%良品保証実現を目指しましょう。

プログラム 1日間 9:30~16:30

- 現場の管理と改善への道—今求められるものとは—
- ポカヨケとは
- 品質保証活動とポカヨケ
- ポカヨケの考え方
- ポカヨケの仕組みと例
- ポカヨケの標準化
- ポカヨケの実施手順と事例
- ポカヨケ推進のための活動
- その他の分野のポカヨケ
- ヒューマンファクターとヒューマンエラー

現場の管理と改善セミナー

異常・クレーム管理コース



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ¥33,000(税込)

維持会員 ¥29,700(税込)

✓ クレーム対応で分かれる命運

✓ 何を管理すべきか、重点的に学習

近年企業のクレーム対応は企業の命運を左右するポイントとなってきています。また製品の異常に気づきクレームを事前に抑える事も重要です。本コースでは異常とは何か、クレーム管理とは何かについて基本に立ち返って講義するコースです。法規面や、ISO規格への対応も触れつつ、未然防止、異常発見・処置、再発防止について具体的事例や事例毎の改善具体策を分かりやすく講義します。

プログラム 1日間 9:30~16:30

- 現場の管理と改善への道—今求められるものとは—
- クレーム管理とは
- 異常管理
- 苦情管理
- クレームに関する法規
- 損失コスト
- ISO 10002 苦情対応のための指針

現場の管理と改善セミナー

設備管理コース



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ¥33,000(税込)

維持会員 ¥29,700(税込)

✓ 設備は生産活動を左右する資源

✓ 正しい管理手法習得で生産性向上

ものづくり企業における経営資源の一つである設備は、ものづくりにおいては重要な資源の一部となっており、設備の故障・停止は生産活動に多大な被害を及ぼすものとなっています。本コースでは設備管理に関する基礎知識を学び、設備管理に必要な管理手法の習得を目指すコースです。設備管理を組織全体で運営するためのTPM（総合的生産保全）について学び、全社活動として設備管理を推進する仕組みを紹介します。

プログラム 1日間 9:30~16:30

- 現場の管理と改善への道—今求められるものとは—
- 設備管理とは
- 設備計画
- 設備保全
- TPM（総合的生産保全）
- 設備管理教育・訓練

現場の管理と改善セミナー

試験・計測器管理コース



開催地区

関東
 北海道
 東北
 中部
 関西
 中国
 四国
 九州
 ライブ
 動画

参加費

一般 ¥33,000(税込)

維持会員 ¥29,700(税込)

試験結果の信頼性につながる管理

意義と管理サイクルを正しく理解

試験・計測器の管理の良否は、試験・検査結果の信頼性を左右し、品質管理において極めて重要度の高いものです。本コースは計測器管理の意義と管理サイクルのポイントを正しく理解するコースです。さらに測定システムに内在する不確かさ要因の把握と改善や、トレーサビリティ体系と校正管理のポイント、計測システム解析(MSA)への理解とGR&Rのワークを通して効果的・効率的な計測器管理の力量維持・向上を目指します。

プログラム 1日間 9:30~16:30

- 現場の管理と改善への道—今求められるものとは—
- 計測と計測器
- 計測の不確かさ
- 計測器のトレーサビリティ
- 計測器管理文書
- 計測器選定・購入のポイント
- 計測器の校正・登録時のポイント
- 計測器の取り扱い・保管・点検時のポイント
- 計測器の異常管理
- 限度見本管理のポイント
- レンタル計測器の管理
- 計測器管理者の能力と資格認定
- 計測器管理システムの改善

現場の管理と改善セミナー

作業改善コース



開催地区

関東
 北海道
 東北
 中部
 関西
 中国
 四国
 九州
 ライブ
 動画

参加費

一般 ¥33,000(税込)

維持会員 ¥29,700(税込)

やる気! 気づき! そして改善

改善活動の効率化で土台づくり

あらゆる分野の企業において“作業改善”は永遠の課題となっています。本コースでは作業改善を改善の基本であるIEの考え方と、その発展型であるトヨタ生産方式(TPS)を学ぶことで、実践に活用できる力を養うことを目的として講義をします。人材育成は企業の土台を強固にする最も重要な武器の一つです。改善活動を通して“やる気”のある人材の育成・継続的レベルアップを目指しましょう。

プログラム 1日間 9:30~16:30

- 現場の管理と改善への道—今求められるものとは—
- 改善活動と人材育成
- 管理と改善
- 作業改善の対象と成果
- 改善の進め方
- IEアプローチによる改善法
- 段取り改善
- 改善にITを活用する方法
- 改善事例

現場の管理と改善セミナー

リーダーシップコース



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ￥33,000(税込)

維持会員 ￥29,700(税込)

リーダーとしてすべき行動

リーダーとしてあるべき姿

組織を機能させ、維持するためのリーダーの果たす役割は、きわめて重要です。本コースはリーダーとして多様性のある組織の中で何をすべきであるか、どうあるべきなのかを学ぶコースです。リーダーの素質の一つとして必要な変化対応力を身につけて頂くため、様々な変化を敏感に察知できるコミュニケーション能力やコーチングの技術、適切なリーダーシップの取り方についても学びます。

プログラム 1日間 9:30~16:30

- 現場の管理と改善への道—今求められるものとは—
- リーダーシップとは
- リーダーシップの技術
- 階層別のリーダーシップ
- 現場リーダーに求められるリーダーシップ
- リーダーシップの今日的課題

ヒューマンエラー

体験型

ヒューマンエラー再発防止コース



開催地区

- 関東
- 北海道
- 東北
- 中部
- 関西
- 中国
- 四国
- 九州
- ライブ
- 動画

参加費

一般 ¥33,000(税込)

維持会員 ¥29,700(税込)

✓ ヒューマンエラー再発防止策をグループ演習で学ぶ

✓ ヒューマンエラー再発防止策にお悩みの方に

本コースは、演習による体験型の研修です。

本コースを体験いただくことでヒューマンエラーの特徴と発生要因を理解し、再発防止に必要な考え方と技法を身に付けることができます。

演習の体験（再発防止策の妥当性の考察、再発防止策の立案）から得られた知見をもとに、受講者の皆さんが自職場のヒューマンエラーの再発防止活動を牽引し実践されることを期待します。

プログラム 1日間 9:30~17:00

オリエンテーション

【講義】ヒューマンエラーの再発防止

- 1) 人間は間違いを起こす動物
- 2) ヒューマンエラーの種類と特徴
- 3) ヒューマンエラーの対策事例検証
- 4) ヒューマンエラー発生要因
- 5) ヒューマンエラー防止の考え方
- 6) ヒューマンエラーの再発防止

【演習】再発防止策の妥当性の考察（1）
対策事例よりグループワーク

【演習】再発防止策の妥当性の考察（2）
対策事例よりグループワーク

【演習】再発防止策の立案
事例によるグループワーク

【まとめ】振り返り、質疑応答

ヒューマンエラー

体験型

ヒューマンエラー未然防止コース



開催地区

- 関東
- 北海道
- 東北
- 中部
- 関西
- 中国
- 四国
- 九州
- ライブ
- 動画

参加費

一般 ¥33,000(税込)

維持会員 ¥29,700(税込)

✓ ヒューマンエラー未然防止策をグループ演習で学ぶ

✓ ヒューマンエラー未然防止策にお悩みの方に

本コースは、グループ演習による体験型の研修です。

本コースを体験いただくことでヒューマンエラーの特徴と発生要因を理解し、未然防止に必要な考え方と技法を身に付けることができます。

演習の体験（汎用事例によるヒューマンエラー未然防止の予測、要因分析と防止策の立案）から得られた知見をもとに、受講者の皆さんが自職場のヒューマンエラーの未然防止活動を牽引し実践されることを期待します。

プログラム 1日間 9:30~17:00

オリエンテーション

【講義】ヒューマンエラーの再発防止

- 1) 人間は間違いを起こす動物
- 2) ヒューマンエラーの種類と特徴
- 3) ヒューマンエラーの対策事例検証
- 4) ヒューマンエラー発生要因
- 5) ヒューマンエラー（未然）防止の考え方
- 6) ヒューマンエラーの未然防止技法

(①デザイン・レビュー、②FMEA、③FTA、④QC工程表、⑤変化点の管理)

【講義】演習の進め方と汎用事例の説明

【演習】ヒューマンエラーの予測
対策事例よりグループワーク

【演習】ヒューマンエラーの要因分析と未然防止策立案
事例によるグループワーク

【講義】振り返り、質疑応答

ヒューマンエラー

ヒューマンエラー防止コース 【①基礎編】

新規



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 **ライブ** 動画

参加費

一般 ￥20,900(税込)

維持会員 ￥18,700(税込)

✓ ヒューマンエラーのメカニズムを学ぶ

✓ 人を責めずに「仕組み」で防ぐへ

人はミスをするもの。だからこそ、エラーを予測し未然に防ぐ仕組み、そしてミスが起きても事故にしない仕組みが重要です。このコースでは、ヒューマンエラーの発生メカニズムを理解した上で、注意・意識だけに頼らない「仕組みで防ぐ」考え方を学んでいただきます。また、ヒューマンエラーを防止するために、人、心・脳、コミュニケーション、職場環境、教育・指導の5つの視点で現場に役立つ知識と防止のポイントを学んでいただきます。

※リニューアル！【①基礎編】【②実践ケーススタディ編】と半日ずつの開催となりました。

プログラム 半日 13:00～17:00

第1部 ヒューマンエラーとは？
実際の事例から、ヒューマンエラーの実態を学びます。
・市場や身近で起きたヒューマンエラーとは？

③コミュニケーション：伝達のズレ、日常の意思疎通など
④職場環境：5S、騒音などの環境ストレスなど
⑤教育・指導：教えたつもり、曖昧な指示など

第2部 ヒューマンエラーのメカニズムとは？
5つの視点で、ヒューマンエラー発生のメカニズムを学びます

①人：人間の特性（注意の限界、ストレスや疲労など）
②心・脳：心理・脳科学からの行動パターン（思い込み、心理的安全性など）

第3部 ヒューマンエラーを防ぐために
5つの視点別に、ヒューマンエラーを防ぐノウハウを学びます。

①人、②心・脳、③コミュニケーション、④職場環境、⑤教育・指導

ヒューマンエラー

ヒューマンエラー防止コース 【②実践ケーススタディ編】

新規



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 **ライブ** 動画

参加費

一般 ￥20,900(税込)

維持会員 ￥18,700(税込)

✓ ヒューマンエラーを防ぐ職場へ

✓ ケーススタディで実践力を高める

人はミスをするもの。だからこそ、エラーを予測し未然に防ぐ、そしてミスが起きても事故にしない仕組みづくりが必要です。このコースでは、実際の現場を想定したケーススタディを使い、「自分ならどう考え、どう行動するか？」をグループ討議していただきます。このケーススタディを通して“自分ごととして捉える力”を養い、ヒューマンエラーを防ぐ職場づくりに必要な、より実践的な判断力と行動力を学んでいただきます。

※リニューアル！【①基礎編】【②実践ケーススタディ編】と半日ずつの開催となりました。

プログラム 半日 13:00～17:00

第1部 ヒューマンエラーの実態について
実際の事例から、ヒューマンエラーの実態を学びます。
・なぜ発生した？ なぜ防げなかった？ その傾向や特徴とは？

第3部 実践に向けて
現状を把握し、ヒューマンエラー防止に向けた行動計画に落とし込みます。
・あなたの職場でのヒューマンエラーは？ その要因は？
・あなたは、そのヒューマンエラーをどう防ぐ？

第2部 ケーススタディで考える
実際の現場を想定したケーススタディを基に、「なぜ起きた？」、「どうすれば防げた？」、「あなたならどうする？」の視点で意見交換していただきます。そして、「私自身の組織では大丈夫か？」を振り返っていただきます。

ヒューマンエラー

動画版 ヒューマンエラー防止 基礎編

新規



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 ライブ **動画**

参加費

一般 ¥5,500(税込)
維持会員 ¥4,400(税込)

✔ まずはここから ヒューマンエラーの基礎を理解

✔ 現場の安全対策の一助に

ヒューマンエラーは起こした本人だけの問題でしょうか？ ヒューマンエラーを引き起こす要因は様々あり、現場関係者や組織がそのことを理解し、工夫することで対策が可能です。現場を取り巻く業務環境は日々変化しますが、このセミナーではどのような業務にも共通する安全人間工学の概論をご説明します。ヒューマンエラーに悩む現場管理者や監督者の皆様、品質管理や安全管理に初めて携わる方、基礎を理解したい方へおすすめです。

プログラム 約1時間

- ヒューマンエラーの防止対策を考える
- 安全人間工学のアプローチ
 - ヒューマンエラーはなぜ起こるのか
 - 1.作業しやすい現場作り
 - 2.マニュアルつくりとその教育
 - 3.注意力向上
 - 4.コミュニケーションとチームワーク
 - それでもエラーは生じる
 - ・安全活動の組み立て
 - まとめ

ヒューマンエラー

動画版ヒューマンエラー防止 管理・監督者の心得

新規



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 ライブ **動画**

参加費

一般 ¥5,500(税込)
維持会員 ¥4,400(税込)

✔ 管理・監督者必見！

✔ 現場の安全のために監督者ができること

現場スタッフにただ「注意しろ」と言ってもヒューマンエラーを防止できるわけではありません。より良い現場環境を作るためには、管理・監督者が知っておくべき知識・スキルがあります。十分な引き継ぎがなされないまま監督者になってしまった方、スタッフのやる気がなくて困っている方に向けての解決策も解説します。

プログラム 約30分間

- 管理・監督者としてのスキル - 特に知っておきたいこと
 - 良い現場作り
 - 1.管理項目の明確化
 - 2.手順書（マニュアル作り）と腹落ち指導
 - 3.作業のしやすい現場作り
 - よい人づくり
 - 現場のやる気を引き出す
 - まとめ

ヒューマンエラー

動画版ヒューマンエラー防止 現場スタッフの心得

新規



開催地区

- 関東
- 北海道
- 東北
- 中部
- 関西
- 中国
- 四国
- 九州
- ライブ
- 動画

参加費

一般	¥5,500(税込)
維持会員	¥4,400(税込)

✓ 現場の作業スタッフ向け

✓ ミス低減のためのテクニック

現場スタッフは様々な業務に取り組んでいるなかで、気を付けているつもりでもヒューマンエラーが起こりうる場合があります。本講義では現場作業員に向けて、現場で活かせる注意のテクニックやチーム間のコミュニケーションの取り方について解説をいたします。

気を付けているつもりでもどうしてもミスを起こしてしまうというお悩みをお持ちの方にもおすすめです。

プログラム 約30分間

現場の基本動作 - 注意のためのテクニック

□気が付くためのテクニック

- 1.ながら作業をしない
- 2.見張りを立てる
- 3.危険予知する

□見落としを避ける

- 1.指差し声出し
- 2.違いをはっきり
- 3.整理整頓

□し忘れを防ぐ

メモ、チェックリストの使用

□チーム作業での注意

コミュニケーションをつなぐ

□まとめ

生産管理セミナー

作業のムリ・ムダ・ムラの見つけ方・探し方コース



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ¥34,100(税込)

維持会員 ¥30,800(税込)

IEでムリ・ムダ・ムラの発見

継続的な日常業務の改善に貢献

仕事は真に価値ある作業とそれ以外に分けられます。作業のムリ・ムダ・ムラを確実に見積もり、排除し、真に価値ある作業に着目し生産性向上を促進するために生産管理（IE）の基本的な考え方、活用方法を学ぶコースです。作業においてIE手法がどのように活用できるのか、わかりやすい講義と演習により、様々な観点から考察をしていきます。

受講後、職場でIEの考え方を導入することでさらなるコスト削減を行えるようになります。管理業務で活用するための標準時間設定も解説します！

プログラム 1日間 9:30~16:30

- 作業の見方、改善箇所の発見の仕方
 - ・IEとQCの役割及び位置付け
 - ・IEの考え方
 - ・仕事の流れからムリ・ムダ・ムラを見つける（工程分析）
- 作業と時間の関係、時間値への変換
 - ・職場全体からムリ・ムダ・ムラを見つける（稼働分析）
 - ・作業を時間に変換する（標準時間設定）
 - ・IEの考え方及びIE手法活用の検討

設備管理セミナー

入門コース（2日間）



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ¥58,300(税込)

維持会員 ¥52,800(税込)

現場・現物主義の設備管理を解説

各部門の管理・改善を通して効率化を目指す

現代のものづくりにおいて設備は、製品の品質・コスト・納期を大きく左右することがあります。しかし現場には設備に関する様々な問題が山積みとなっています。本コースでは設備管理の重要性や自主保全・計画保全・予知保全や各部門で行うべき管理と改善の方法を学ぶことで現場で実践出来る手法が身に付きます。

「ものづくり」には「良い設備」と「良い管理」が欠かせません。本コースを通して設備管理のプロを目指しましょう。

プログラム 2日間 9:30~16:30

- | | |
|--|---------------------------------------|
| 第1日 | 第2日 |
| <input type="checkbox"/> 設備管理の概要 | <input type="checkbox"/> 保全スタッフの管理と改善 |
| <input type="checkbox"/> 設備の7大ロスと設備効率 | <input type="checkbox"/> スタッフ部門の管理と改善 |
| <input type="checkbox"/> 現場のリーダーの管理と改善 | <input type="checkbox"/> 慢性ロス改善 |
| <input type="checkbox"/> オペレータの管理と改善 | <input type="checkbox"/> まとめ |

QCサークルセミナー

入門コース



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西

中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ¥34,100(税込)

維持会員 ¥30,800(税込)

QCサークルの基本を習得

活力あるサークル活動を実践

QCサークルの基本理念を正しく理解し、サークル活動を効果的に進めていく上での基本事項とポイントを習得していただくコースです。職場を活性化するためのQCサークルとはいかにあるべきかを講義・事例紹介・質疑応答を通じて学習します。

プログラム 1日間 9:30~17:00

- QCサークルの基本
- QC的ものの見方・考え方
- QCサークル活動の進め方
- QCサークル活動の活性化
- QCサークル活動における問題解決の手順
- QCサークル活動の事例
- 質疑応答

QCサークルセミナー

リーダーコース (2日間)



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西

中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ¥56,100(税込)

維持会員 ¥50,600(税込)

リーダーとしての実務能力を養成

サークル運営のノウハウ習得

QCサークルリーダーを養成するためのコースです。QCサークルを楽しく、効果的に進める上でのポイントを学び、参加者の問題解決能力の向上が図れるようQCストーリーの手順及び問題解決に役立つQC手法を習得していただき、QCサークルリーダーとしての実務能力を養っていただきます。

プログラム 1日目：9:30~17:30、2日目：9:30~16:30

- | | |
|---|--|
| 第1日 | 第2日 |
| <input type="checkbox"/> QCサークルの基本と進め方 | <input type="checkbox"/> QCサークルにおける管理と改善の進め方 |
| <input type="checkbox"/> QCサークルリーダーの役割 | <input type="checkbox"/> 問題解決の進め方 <グループ演習> |
| <input type="checkbox"/> QCサークルリーダーのためのQC手法 | <input type="checkbox"/> 総合質疑とまとめ |

実験計画法セミナー

入門コース（4日間）



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ¥126,500(税込)

維持会員 ¥114,400(税込)

まずは基礎をしっかりとマスター

実験計画法で品質や生産性を向上

実験計画法の基礎的な手法を短期間で身につけることを主眼としてプログラムされたコースです。ベテラン講師陣による懇切丁寧な講義のみならず、演習や適用事例の紹介も取り入れたカリキュラムは、初めて実験計画法を学ぶ方にも最適の内容といえます。

プログラム 4日間 9:30~16:30

第1日

- 実験計画法とは
- 1因子実験(1) (完全無作為化法の場合)
- 演習

第2日

- 1因子実験(2) (乱塊法の場合)
- 2因子要因実験 (2元配置)
- 因子が3つ以上のときの要因実験
- 演習

第3日

- 直交表による実験計画 (2水準の場合)
- 直交表による実験計画 (3水準の場合)
- 演習

第4日

- パラメータ設計 (事例を含む)
- 実験計画法実施上の諸注意
- 質疑応答

機能安全セミナー

動画配信 入門編コース



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ¥5,500(税込)

維持会員 ¥4,400(税込)

機能安全の基礎をしっかりと解説

機能安全導入の推進役を育成

安全における機能安全の位置づけ、IEC 61508の枠組み、導入効果を理解いただき、機能安全導入の推進役を育成するコースです。

プログラム 約80分

- 安全総論
- 機能安全対策の必要性・標準概要
- 先進的機能安全の導入製品事例紹介

機能安全セミナー

SW編コース



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ￥44,000(税込)

維持会員 ￥39,600(税込)

機能安全SWの設計を習得

設計・実装技法まで学習

機能安全を実装したSW設計開発に係る安全ライフサイクルプロセス、開発フェーズ毎で推奨される技法・手法に関する要求事項の解釈や留意点、安全度水準(SIL)及びSWの決定論的対応能力、SW設計で考慮すべきHW故障診断機能などを理解いただくコースです。

プログラム 1日間 10:00~17:20

- SW (ソフトウェア) 要求事項
- SW (ソフトウェア) 設計技法
- SW (ソフトウェア) 実装技法
- 総合質疑
- SW編コース試験
- 試験解説

機能安全セミナー

HW編コース



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ￥44,000(税込)

維持会員 ￥39,600(税込)

機能安全HWの設計を習得

設計・実装技法まで学習

機能安全を実装したHW設計開発の規格要求事項の基本事項、留意点、リスクアセスメントの手順、危害事象率の算定・評価方法、安全度水準 (SIL) 決定に必要な基本指標や分析技法 (FTA、FMEA)、及びSIL決定方法などを理解いただくコースです。

プログラム 1日間 10:00~17:20

- HW (ハードウェア) 設計技法
- HW (ハードウェア) 要求事項
- HW (ハードウェア) 実装技法
- 総合質疑
- HW編コース試験
- 試験解説

ISO9000セミナー

経営トップのための ISO9001の使いこなし方



開催地区

社内研修にて承ります

参加費

お問い合わせ
ください

運用の状態を見ていてじれったい

実施内容でやめていいものを知りたい

ISO9001は経営ツールです。本セミナーではISO9001の使いこなし方をお伝えします。またプログラムの中に講師・参加者同士でISO9001の運用・活用に関して自由に話し合い、ご自身の道が見つけられるよう、「コミュニケーション・タイム」という時間を設けています。ISO9001の運用にお悩みの経営トップ・役員・経営幹部・管理責任者の方はぜひご参加ください。

プログラム 1日間 13:30~16:30

- ISO 9001は“マネジメント”のシステム
- 経営ツールとしての、ISO 9001の活用
- マネジメントレビューの活用
- 組織の成長と要員の育成…事業承継も考慮
- ビジネスと経営の基本は、システムに反映
- 組織内にありがちなISO 9001への誤解の解消
- マネジメントシステムの発展に向けて
- コミュニケーション・タイム

ISO9000セミナー

品質マネジメントシステム 入門コース



開催地区

関東

北海道

東北

中部

関西

中国

四国

九州

ライブ

動画

参加費

一般 ¥26,400(税込)

維持
会員 ¥23,100(税込)

業務と9001のつながりを理解

「人々の積極的参加」に直結

品質マネジメントシステムの基本事項であるISO9001について、初めて学ぶ方、さらにジックリと学んで今後の仕事に活用したいと願う方々を対象に、品質マネジメントシステム（QMS）とはどのような活動であるのか、ISO9001規格の意図や規定事項、導入したISO9001QMSの活用などについて学んでいただくコースです。

プログラム 1日間 9:30~16:30

- ISO 9001って何？
- Q&Aで理解するISO9001
- ISO 9001が意図することは？
- 内部監査と認証制度とは？
- 品質マネジメントシステム構築と改善のポイント
- ISO 9001 の活用に成功した組織

ISO9000セミナー

ISO9001 要求事項解釈コース



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ¥30,800(税込)
維持会員 ¥27,500(税込)

要求事項の逐条解説で正しい理解

QMS有効活用のスタートライン

初めて品質マネジメントシステム（QMS）の業務に携わるISO担当者だけでなく、組織全ての管理者及び内部監査員の方々を対象として、ISO9001に記載されている各箇条を、実例を交えながら1日で解説するコースです。

★QMS管理責任者・推進事務局養成コース（3日間）の第1日目★

プログラム 1日間 9:30～17:30

- ISO9001の制定、改訂の背景
- プロセスモデルとは
- 文書化とは
- QMSの特徴
- 個別要求事項の解釈

ISO9000セミナー

内部品質監査員養成 コース（2日間）



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ¥69,300(税込)
維持会員 ¥63,800(税込)

大半を占める演習で実践力を体得

有意義な監査を実施する力を養成

内部監査業務に必要な基本的知識と技術を確実に習得できると同時に、これから内部監査員の力量を向上させるための足場作りとして最適なコースです。演習時間がコース全体の大半を占める実践的な内容となっており実践力がしっかり身につきます。なお、本コースは“ISO9001の要求事項を理解していること”をご受講の条件とさせていただきます。

プログラム 2日間 9:30～17:00

- | | |
|--|--|
| <p>第1日</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ISO9001要求事項の理解 <input type="checkbox"/> 品質マネジメントシステムとは <input type="checkbox"/> 品質マネジメントの原則の理解のための演習 <input type="checkbox"/> 内部品質監査の基本/内部品質監査の準備（講義と演習） <input type="checkbox"/> 内部品質監査の実施1（講義と演習） <input type="checkbox"/> 内部品質監査の実施2 | <p>第2日</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 不適合抽出の演習 <input type="checkbox"/> 内部品質監査の報告（講義と演習） <input type="checkbox"/> 内部品質監査の是正処置（講義と演習） <input type="checkbox"/> 効果的な内部品質監査に必要なこと <input type="checkbox"/> 内部品質監査総合演習 |
|--|--|

ISO9000セミナー

QMS管理責任者・推進事務局 養成コース（3日間）



開催地区

関東

北海道

東北

中部

関西

中国

四国

九州

ライブ

動画

参加費

一般 ¥67,100(税込)

維持
会員 ¥60,500(税込)

組織のQMSキーパーソンを養成

管理責任者の力量証明に最適

管理責任者及び推進事務局の役割について、ISO9001の要求事項と関連付けて理解して頂き、ワークショップも取り入れながら理解を深めることができるコースです。管理責任者とそれをサポートする推進事務局が果たすべき役割が非常に大きく、QMSの要とも言えます。言い換えれば、組織にとって「役に立つQMS」となるか、「形骸化したQMS」となるかは、管理責任者と推進事務局で決まると言っても過言ではありません。

プログラム 3日間

- 第1日：ISO9001要求事項解釈コース
- 第2日：QMS管理責任者・推進事務局養成コース（基本編）
- 第3日：QMS管理責任者・推進事務局養成コース（指導編）

ISO9000セミナー

QMS管理責任者・推進事務局 養成コース（基本編）



開催地区

関東

北海道

東北

中部

関西

中国

四国

九州

ライブ

動画

参加費

一般 ¥40,700(税込)

維持
会員 ¥36,300(税込)

管理責任者の役割の基本を習得

演習で実践力を体得

管理責任者及び推進事務局の役割の基本を、ISO9001の要求事項と関連付けて、演習も取り入れながら理解を深めるコースです。

プログラム 1日間 9:30~17:00

- ≪QMS管理責任者・推進事務局養成コース（3日間）≫の第2日目です。
- 品質マネジメントシステムの再理解
 - 管理責任者・推進事務局の代表的な役割
 - マネジメントレビューの再考
 - 私は管理責任者・推進事務局員

ISO9000セミナー

QMS管理責任者・推進事務局 養成コース（指導編）



開催地区

関東

北海道

東北

中部

関西

中国

四国

九州

ライブ

動画

参加費

一般 ￥40,700(税込)

維持
会員 ￥36,300(税込)

QMSを正しい方向に導くスキル

組織の指導的役割を演習で体得

管理責任者の役割・活動の基本を理解した次のステップとして、組織の運用状況を見極める、問題点を検出する、適切に指導できること、さらに問題点や成果を、関係者の納得が得られる形態で示せる能力を講義と演習を通じて学習するコースです。

プログラム 1日間 9:30~17:00

《QMS管理責任者・推進事務局養成コース（3日間）》の第3日目です。

- 魅力的な製品とサービスの創設
- 形式的な運用になりやすい活動とその見抜き方
- 第三者監査の充実
- QMSへの品質管理の活用
- 培ってきた技術やノウハウの伝承
- 組織の求められる管理責任者・推進事務局は？

ISO9000セミナー

内部監査パフォーマンス向上コース テーマ①QMS改善に役立つ プロセスアプローチによる有効性監査



開催地区

社内研修にて承ります

参加費

お問い合わせ
ください

役立つプロセスアプローチを学習

演習で実践力を体得

QMS改善に役立つプロセスアプローチの考え方と有効な監査技法であるプロセス監査を学んでいただくことを目的としております。カリキュラムも演習を取り入れ、より実践的な内容となっております。演習、講師からのフィードバック、受講生同士のディスカッションを通じて多くの気づきがあり、飽きることなく自然にプロセス監査の力量を養うことが可能です。

プログラム 1日間 10:00~16:30

- 有効な監査とは何か／品質マネジメントの原則／品質マネジメントの理解度演習
- 有効性監査とは／有効性監査の事例研究／有効性監査事例演習
- 監査のアプローチ
- プロセスアプローチの理論と実践
- プロセスの分析／プロセス分析演習
- プロセス監査の準備と実施／プロセス監査準備演習
- プロセス監査の報告／プロセス監査報告演習
- プロセスの改善に必要なこと

ISO9000セミナー

内部監査パフォーマンス向上コース
テーマ②組織のQMSの
有効性向上を支援するための監査の勘所



開催地区

社内研修にて承ります

参加費

お問い合わせ
ください

QMSの有効性向上を支援

監査の勘所を体験談も含めて紹介

組織は、認証維持によりQMS運営効果が出ることを期待していますから、内部監査員や審査員は状況を見極めて、それに合った姿勢で臨まねばなりません。しかし、明確な指針はなく、対応に苦慮して戸惑う場面に遭遇する機会も多くなっています。このコースでは、組織とどのように向き合っQMSの有効性向上を支援するかについて、内部監査や審査の経験が豊富な講師をお招きし、自らの体験を踏まえて監査の勘所を紹介します。

プログラム 1日間 10:00~16:30

- 最近の認証組織の多様化したQMS運営状況
- ISO9001の規定事項の解釈及び適用で監査員が重視すべき要素
- QMSの有効性を促すための課題の検出方法
(※各单元において、ディスカッション及び質疑応答を実施。)

ISO9000セミナー

内部監査パフォーマンス向上コース
テーマ③新しい複合マネジメント
システムの考え方と監査技法



開催地区

社内研修にて承ります

参加費

お問い合わせ
ください

複合マネジメントシステムを考察

プロセスやリスクの目分析を学習

本コースでは、あるべき姿の複合マネジメントシステムの新しい考え方と、有効な複合審査手法である提供価値最大化・残留リスク最小化アプローチによる監査について学んでいただきます。また、提供価値最大化アプローチ審査の要である“プロセスの目分析”や残留リスク最小化アプローチ審査の要である“リスクの目分析”を中心に、より実践的な演習が用意されており、効果的な学習ができるようになっています。

プログラム 1日間 10:00~16:30

- 新しい複合審査技法の概要
- 組織継続のために必要な考え方（ゴーイングコンサーン）
- マネジメントシステムの現状と課題
- 組織継続のためのマネジメントシステムの必要性
- 組織継続のためのマネジメントシステムの構築／プロセスの目、リスクの目、分析演習
- 組織継続となるために必要なこと
- プロセス審査、リスク審査の準備と実施／情報収集準備演習
- プロセス審査、リスク審査の報告／審査報告演習
- システム改善に必要なこと

ISO9000セミナー

業務に活かす内部監査の 進め方コース



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西

中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ￥36,300(税込)

維持
会員 ￥33,000(税込)

✓ 業務成果UPにつなげる監査

✓ よい事例から工夫のヒントを学習

内部監査事例の紹介と実施のための講義を中心としたコースです。良い事例を見て知ること、新たな刺激が加わり、工夫のヒントが得られます。また、書籍を一人で読むのと異なり講師からエピソードなどの具体的な話を聞くことで、自分なりにイメージできるようになりさらに進化できます。事例集は、後から何度も取り出して、自己学習することができます。

プログラム 1日間 9:30~16:30

- 原点回帰…内部監査は何のため？ 何に役立つ？
- ISO9001...それぞれの要求事項が、なぜ存在するかを学ぶ
- チェックリストの見本から、監査の進め方と捉え方を学ぶ
- 監査報告書から、監査結果のまとめ方と伝え方を学ぶ
- 検 討 監査での押さえどころを検討して学ぶ
- 品質マネジメントシステムの良好事例を学ぶ
- 内部監査での話術・行動と、相手の気持ちを学ぶ
- 内部監査の結果を活用し、自分の成長に活かすために
- 参考情報集 ISO 9001:2015における各箇条の実施場面とリスク・機会の例

ISO9000セミナー

内部監査報告書の 書き方と調べ方コース



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西

中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ￥36,300(税込)

維持
会員 ￥33,000(税込)

✓ システム的な内容に踏み込んだ報告書

✓ 事例に基づいて解説

「内部監査報告書をどう書けばよいのでしょうか。」質問は「書き方」なのですが、趣旨は「何を書けばよいか」であり、本質的には「何を調べたらよいか」のようです。よく見かけるのは「システム的な内容にまで踏み込んでいない」という症状です。この研修では、内部監査を活性化する切り口についてお話ししたうえで、事例に基づいて、どのような突破口があるか、どのような本質に迫ることができる可能性があるかをご説明します。

プログラム 1日間 10:00~16:00

- 内部監査の活性化のポイント
- 報告の記述例を基に一步踏み込む調べ方を考える
 - ・不適合の記述例
 - ・改善の機会の提供の記述例
 - ・優れた実践事例の記述例
 - ・内部監査総括報告書の記述例
 - ・書類の不備を契機とした監査での見方
- 個別事項の監査での見方
 - ・品質目標の監査での見方
 - ・是正処置の監査での見方
 - ・営業活動の監査での見方
 - ・品質管理活動の監査での見方
 - ・製造・施工・サービス提供の監査での見方
 - ・購買・外部委託活動の監査での見方
 - ・内部監査の充実に向けて

ISO9000セミナー

プロセスアプローチ実践コース



開催地区

関東
 北海道
 東北
 中部
 関西
 中国
 四国
 九州
 ライブ
 動画

参加費

一般 ¥34,100(税込)

維持会員 ¥30,800(税込)

結果が悪いのはプロセスに問題！

プロセスアプローチを徹底学習

“業務プロセスの構築・管理・改善”に焦点を当て、よい結果を生むために有効な“プロセスアプローチ”の考え方と実践方法を基礎から習得するコースです。よい結果を生む仕事の進め方とは、仕事の“インプット・アウトプット”を定め、見つめるべきこと、押さえどころ、確認の仕方、それを支える人・設備・モノ・業務のやり方を整え、プロセスに価値を付加することです。期待どおりの成果が出ないとお悩みの方におすすめてです。

プログラム 1日間 9:30~16:30

- なぜ、プロセスアプローチが必要か
- “プロセス管理の基本”10のポイント
- 事例で学ぶプロセスアプローチ
- ISO9001とプロセスアプローチ

ISO9000セミナー

動画版 医療・福祉のための、一から学ぶISO9001の使い方



開催地区

関東
 北海道
 東北
 中部
 関西
 中国
 四国
 九州
 ライブ
 動画

参加費

一般 ¥12,100(税込)

維持会員 ¥9,900(税込)

QMSで重大事故防止や黒字化！

実際の業務にQMSをあてはめる

ISO9001は製造業だけでなく、病院や福祉施設など、どのような組織にも適用できるシステムです。しかし、実際は何のために取り組むのか、どうやって取り組めばよいのか想像がつかないというお声もあります。そこで本コースでは、医療や福祉の業務をストーリー化し、ISO9001の要求事項をあてはめて解説します。ISO9001の有効活用は、黒字化や人材確保、そして重大な事故防止への架け橋となるはずですが、規格の文章や、製造業向けのセミナー・解説本ではわからないところを一からご説明します。

プログラム 約2.5時間

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> Part1 (約42分) <ul style="list-style-type: none"> ・はじめに (講師紹介、本コースの目的) ・なぜ、ISO9001? ・医療の特徴/医療組織が抱える3つの課題 <input type="checkbox"/> Part2 (約55分) <ul style="list-style-type: none"> ・マネジメントの7原則 ・PDCAの考え方 ・プロセスアプローチ ・プロセスフローチャート・タートル図 (医療版) | <input type="checkbox"/> Part3 (約48分) <ul style="list-style-type: none"> ・リスク及び機会 ・経営的目標と業務目標 ・ストーリーで見るISO9001~入院から退院まで~ ・ストーリーで見るISO9001~脳梗塞・糖尿病事例~ ・インシデント ・人材確保 ・チームワーク・ハラスメント ・離職率を下げる環境づくり |
|---|---|

ISO9000セミナー

e-ラーニングで学ぶ ISO9001:2015 解釈オンデマンド研修



開催地区

関東

北海道

東北

中部

関西

中国

四国

九州

ライブ

動画

参加費

一般 ￥18,700(税込)

維持
会員 ￥16,500(税込)

ISO9001を正しく理解

受講期間中は何度でも視聴可能

「ISO9001」の考え方は、どの人の業務にも必ず息づいており、マネジメントシステムの第三者認証の有無に関わらず、一人一人がISO9001の意図を正しく理解していくことが、効率的な業務な近道となります。

本教育を利用いただくことで、期間中であればいつでも何度でも学習ができることができ、規格の意図を正しく理解できるチャンスです。社内の人材育成にご検討ください。

プログラム 視聴可能期間30日間

- Chap01-02 序文
- Chap03 組織の状況
- Chap04 リーダーシップ
- Chap05-06 計画
- Chap07-09 支援
- Chap10-16 運用
- Chap17-18 パフォーマンス評価
- Chap19-20 改善・附属書A

※各チャプターは15分程度

ISO14000セミナー

ISO14001 要求事項解釈コース



開催地区

関東
 北海道
 東北
 中部
 関西
 中国
 四国
 九州
 ライブ
 動画

参加費

一般 ¥30,800(税込)
 維持会員 ¥27,500(税込)

要求事項の逐条解説で正しい理解

EMS有効活用のスタートライン

初めて環境マネジメントシステム（EMS）の業務に携わるISO担当者だけでなく、組織全ての管理者及び内部監査員の方々を対象として、ISO14001に記載されている各箇条を、実例を交えながら1日で解説するコースです。ISO14001規格の本来の意図を正しく理解していただき、自社EMSの有効性を高めるためにご活用ください。

プログラム 1日間 9:30~17:00

- ISO14001規格の概要
- ISO14001要求事項の逐条解説

ISO14000セミナー

内部環境監査員 養成コース（2日間）



開催地区

関東
 北海道
 東北
 中部
 関西
 中国
 四国
 九州
 ライブ
 動画

参加費

一般 ¥69,300(税込)
 維持会員 ¥63,800(税込)

演習づくしの2日間で実践力を体得

有意義な監査を実施する力を養成

内部監査業務に必要な基本的知識と技術を確実に習得できると同時に、これから内部監査員の力量を向上させるための足場作りとして最適なコースです。演習時間がコース全体の大半を占める実践的な内容となっており実践力がしっかり身につきます。なお、本コースは“ISO14001の要求事項を理解していること”をご受講の条件とさせていただきます。

プログラム 2日間 9:30~17:00

- | | |
|--|---|
| <p>第1日</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム規格制定の背景 <input type="checkbox"/> 監査の基礎 <input type="checkbox"/> WS 1: 規格要求事項の解釈 <input type="checkbox"/> 内部環境監査の実施とそのポイント <input type="checkbox"/> WS 2: 内部環境監査演習及びフィードバック | <p>第2日</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 前日の復習と模擬マニュアルの理解 <input type="checkbox"/> WS 3.1: チェックシートの作成 <input type="checkbox"/> WS 3.2: チェックシートの発表及び講評 <input type="checkbox"/> WS 4: ロールプレイによる模擬内部環境監査演習 <input type="checkbox"/> WS 5.1: 監査所見の作成 <input type="checkbox"/> WS 5.2: 監査所見の発表及び講評 <input type="checkbox"/> WS 6: <個人演習>（監査所見の作成・提出） <input type="checkbox"/> フォローアップ |
|--|---|

ISO14000セミナー

環境マネジメントシステム 入門コース



開催地区

- 関東
- 北海道
- 東北
- 中部
- 関西
- 中国
- 四国
- 九州
- ライブ
- 動画

参加費

一般	¥26,400(税込)
維持会員	¥23,100(税込)

業務と14001のつながりを理解

「人々の積極的参加」に直結

環境マネジメントシステムの基本事項であるISO14001について、初めて学ぶ方、さらにじっくりと学んで今後の仕事に活用したいと願う方々を対象に、環境マネジメントシステム（EMS）とはどのような活動であるのか、ISO14001規格の意図や規定事項、導入したISO14001EMSの活用などについて学んでいただくコースです。

プログラム 1日間 9:30~16:30

- ISO14001って何？
- ISO14001要求事項の解説
- 内部監査と認証制度とは？
- 環境マネジメントシステム導入のポイント

ISO14000セミナー

環境管理責任者・推進者 養成コース（2日間）



開催地区

- 関東
- 北海道
- 東北
- 中部
- 関西
- 中国
- 四国
- 九州
- ライブ
- 動画

参加費

一般	¥73,700(税込)
維持会員	¥67,100(税込)

EMSのキーパーソンを養成

自社に最適のEMS構築のヒント

ISO14001の要求事項を表面的だけではなく、その意図を正しく、しっかりと理解していただくと同時に、管理責任者・推進者として自組織にとって最適のEMSはどのようなべきかを企画できる基礎力をつけていただくコースです。また、豊富な演習を通じて自社のEMSの理解を深めていただけます。

プログラム 2日間 9:30~17:00

- | | |
|---|---|
| 第1日 | 第2日 |
| <input type="checkbox"/> ISO14001:2015規格の構成 | <input type="checkbox"/> 7.支援 解説 |
| <input type="checkbox"/> 序文、適用範囲、用語及び定義 | <input type="checkbox"/> 8.運用 解説 |
| <input type="checkbox"/> 4.組織の状況 解説 | <input type="checkbox"/> 9.パフォーマンス評価 解説 |
| <input type="checkbox"/> 5.リーダーシップ 解説 | <input type="checkbox"/> 10.改善 解説 |
| <input type="checkbox"/> 6.計画 解説 | |

ISO14000セミナー

環境法・順守義務研修コース



開催地区

関東

北海道

東北

中部

関西

中国

四国

九州

ライブ

動画

参加費

一般 ￥36,300(税込)

維持会員 ￥33,000(税込)

不適合になりやすい法規制対策

最新の環境法動向も紹介！

EMSと環境法、環境法の体系と主要法のポイント、実務上の法規制対応の課題と対策、法改正解説の4部構成からなり、既にEMSを運用している企業の担当者が受講することを前提に、法規制の「運用」に力点を置いた内容のコースです。環境法規制に適切に対応できるようにするための基礎やヒントを学びたい方におすすめです。

プログラム 1日間 9:30～16:30

- EMSと環境法
- 環境法のポイント
- 環境法への対応
- 法改正解説

ISO14000セミナー

内部環境監査向上コース



開催地区

関東

北海道

東北

中部

関西

中国

四国

九州

ライブ

動画

参加費

一般 ￥34,100(税込)

維持会員 ￥30,800(税込)

実態を知り有効な環境活動

新たな視点の内部環境監査

規格の意図について、事例・エピソードを交え、わかりやすく解説するとともに、各パートごとに豊富な演習を取り入れ、新たな視点による監査の実施方法を理解するコースです。監査員としての活動に物足りなさを感じている方、また新たな視点で監査を実施したい方におすすめです。

プログラム 1日間 9:30～16:30

- 内部監査に関する要求事項
- マネジメントシステムと運用の基礎知識
- ISO14001:2015の再理解
- 内部監査の実施内容を捉え直す
- 内部監査での判定と報告
- 演習1 事業プロセスの中での環境活動
- 演習2 “改善の機会”の報告に対する追加調査
- 演習3 不適合の確定

SDGsセミナー

—取り組み始めるすべての企業のための—
SDGs入門コース



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 **ライブ** 動画

参加費

一般 ¥26,400(税込)

維持会員 ¥23,100(税込)

SDGsの概要を演習を交え学習

さまざまな業種の取組事例を紹介

SDGsは、17の目標と169のターゲットに全世界が取り組むことによって『誰も取り残されない』世界を実現しようという壮大なチャレンジです。日本でも公的年金基金GPIFによるESG投資と表裏の関係にあるSDGsへの取り組みが今注目されています。本コースは、これからSDGsに取り組む方々を対象に、SDGsの概要、社内展開の方法、業種別の取組事例などを解説するコースです。

プログラム 1日間 9:30～16:30

- SDGsとは何か～理解のためのポイント～
- 知っておきたいSDGsに関する最新動向
- SDGsをどのように社内展開するか？
- 国内外のさまざまな業種の取組事例
- 演習（基礎編・応用編）を含む

SDGsセミナー

SDGsをISO14001/9001で
実践するコース



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 **ライブ** 動画

参加費

一般 ¥18,700(税込)

維持会員 ¥16,500(税込)

SDGsとEMS/QMSへの適用

SDGsコンパスの活用

日本の公的年金基金GPIFによるESG投資と表裏の関係にあるSDGs（持続可能な開発目標）への取り組みが今注目されています。SDGsが設定する目標を経営戦略に取り込み、事業機会として生かす動きが広がってきました。本コースは、SDGsとISO14001/9001への適用を、取組事例の紹介、SDGsコンパスの活用などを含め、解説するコースです。SDGsコンパスを使用した、自社の目標を設定する演習も行います。

プログラム 1日間 13:30～17:00

- SDGsとISO14001/9001への適用
 - ・持続可能な開発とISO14001/9001
 - ・持続可能な開発への貢献を組織に促す背景
 - ・SDGsの概要と特徴
 - ・SDGsとTC207/TC176
 - ・SDGsの国内の動き
 - ・なぜ組織はSDGsに取り組むか
 - ・組織のSDGsへの取り組み
 - ・SDGsとISO14001/9001
- ・SDGsと中小企業
- ・組織が持続可能性に貢献する目的
- 演習 SDGコンパスの活用
 - ・SDGコンパスとは
 - ・SDGコンパスとISO14001/9001
 - ・SDGコンパスの考えを自社に適用する
 - ・適用した結果をグループ内で話し合う
 - ・グループで事例を1つ発表する

IATF16949セミナー

サプライヤーのためのよく分かる！
規格と制度の解説コース



開催地区

関東

北海道

東北

中部

関西

中国

四国

九州

ライブ

動画

参加費

一般 ¥34,100(税込)

維持会員 ¥30,800(税込)

✓ 要求事項の逐条解説で正しい理解

✓ 最新動向もしっかり紹介！

演習や審査事例を交えて、分かりやすく規格の解説を行うコースです。また、IATF16949:2016の認証制度に関する最新の情報もご提供いたします。IATF16949:2016について初めて学ぶ方はもちろん、パフォーマンスの上がるシステムの構築・運用の方法についてお悩みの組織のご担当者にもおすすめてです。

※2026年リニューアル予定
リニューアル前のプログラムです

プログラム 1日間 9:30~17:30

□ 講義（第一部）

IATF16949:2016の概要

- 規格制定の経緯と意図
- 要求事項の構成と特徴
- QMSの効果的運用を阻む要因
- QMSの効果を出すためのポイント

□ 講義（第二部）

規格要求事項の意図

- 規格の概要と要求事項の意図
(審査で多く指摘される内容を含む)

□ 理解を深めるためのWork Shop

- 各事例を基に、有効なシステム構築ができて
いるかについて検討し、規格の意図を理解
- QMSの効果的な運用のポイントを理解

□ 講義（第三部）

- 品質マネジメントシステムの構築と認証取得
- 認証取得までのプロセス、
有効な準備ポイント
- システム構築の焦点

✓ Point

IATF16949:2016は、自動車及びその部品メーカーなどのサプライヤーに求められている品質マネジメントシステム(QMS)の固有要求事項です。IATF16949:2016の導入効果を上げる最大のポイントは、規格の意図をしっかりと理解し、システムを構築・運用することにあります。また、この規格はパフォーマンスの継続的改善により、顧客満足の上につなげることに焦点が当てられています。そのため、認証制度についてもISO9001認証制度とは異なる制度設計・運営がされており、十分な理解が必要です。

リスクマネジメントセミナー

ISO31000規格活用コース



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ¥29,700(税込)

維持会員 ¥26,400(税込)

リスクマネジメントを詳しく解説

リスクに基づく考え方を習得

ISO31000は組織の規模や活動・分野に関わらず適用出来るリスクマネジメントの国際規格です。

本コースはISO31000の規格の要点やプロセス、組織でリスクマネジメントを導入する際のポイントを講義・グループ演習を通して学んで頂くことで組織におけるマネジメントの改善、有益な運営につなげていただくことを目的としています。

プログラム 1日間 10:00~17:00

- マネジメント改善に資するISO31000の要点
- 管理からマネジメントへ
- ISO 31000:2018 プロセス
- リスクマネジメントの効率的な導入の要点
- 演習

リスクマネジメントセミナー

e-ラーニングで学ぶ リスクの基礎を学ぶ・再学習する入門コース

新規

開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

お問い合わせください

リスクの概念や影響・効果について講義！

未来のリスクを見落とす前に学びたい方へ！

※現在開発中です。日本規格協会メールマガジンの【ご興味のある分野】で【ISO・マネジメントシステム】をご登録いただいている方には、リリース時にメールマガジンにてお知らせいたします。

「リスク」とは何でしょうか。リスクの概念やもたらす影響・効果について講義します！リスクマネジメントをはじめて学ぶ方、学びなおしたい方や現行のリスクマネジメントを見直したい方におすすめです！

プログラム 約3~4時間

- 現在開発中です

リスクマネジメントセミナー

e-ラーニングで学ぶ 組織で活用する
ISO31000基礎コース

新規

開催地区

- 関東
- 北海道
- 東北
- 中部
- 関西
- 中国
- 四国
- 九州
- ライブ
- 動画

参加費

お問い合わせ
ください

✔️ どんな組織でも活用できるリスクマネジメントを学ぶ！

✔️ e-ラーニングでISO31000の特徴やプロセスを学ぶ！

※現在開発中です。日本規格協会メールマガジンの【ご興味のある分野】で【ISO・マネジメントシステム】をご登録いただいている方には、リリース時にメールマガジンにてお知らせいたします。

ISO31000は、組織の規模や活動・分野に関わらず適用出来る汎用的なリスクマネジメント規格です。本コースではどんな組織でも活用できるISO31000の特徴やプロセスについて講義します！

プログラム 約3~4時間

現在開発中です

リスクマネジメントセミナー

e-ラーニングで学ぶ 経営層のための経営
判断に役立つリスクマネジメントコース

新規

開催地区

- 関東
- 北海道
- 東北
- 中部
- 関西
- 中国
- 四国
- 九州
- ライブ
- 動画

参加費

お問い合わせ
ください

✔️ トップが知るべきリスクマネジメントについて講義！

✔️ リスクの概念を活用してよりよい経営を構築する！

※現在開発中です。日本規格協会メールマガジンの【ご興味のある分野】で【ISO・マネジメントシステム】をご登録いただいている方には、リリース時にメールマガジンにてお知らせいたします。

経営者の判断は会社の命運を左右するものです。多様化する社会の中で生き残るために判断基準の1つとしてリスクマネジメントをどう活用するか、トップが知るべきリスクマネジメントを講義します！

プログラム 約3~4時間

現在開発中です

ISO45000セミナー

ISO45001要求事項解釈コース



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ¥30,800(税込)

維持会員 ¥27,500(税込)

要求事項の逐条解説で正しい理解

OHSMSの構築・活用を解説

労働安全衛生マネジメントシステム規格であるISO45001の各箇条を、実例を交えながら1日で解説するコースです。昨今の労働安全衛生に関する課題を念頭におきつつ、どのようにOHSMSを構築/活用すればよいか、事例を交えながらわかりやすく解説します。

プログラム 1日間 9:30~17:00

- ISO45001規格の概要
- 規格要求の逐条解説
- 質疑応答

ISO45000セミナー

ISO45001内部監査員養成コース（2日間）



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ¥69,300(税込)

維持会員 ¥63,800(税込)

演習づくしの2日で実践力を体得

有意義な監査を実施する力を養成

内部監査業務に必要な基本的知識と技術を確実に習得できると同時に、これから内部監査員の力量を向上させるための足場作りとして最適なコースです。演習時間がコース全体の大半を占める実践的な内容となっており実践力がしっかり身につきます。なお、本コースは“ISO45001の要求事項を理解していること”をご受講の条件とさせていただきます。

プログラム 2日間 9:30~17:00

- | | |
|---|--|
| 第1日 | 第2日 |
| <input type="checkbox"/> 労働安全衛生マネジメントシステム規格と監査の規格 | <input type="checkbox"/> 模擬マニュアルの理解 |
| <input type="checkbox"/> 内部監査の基礎 | <input type="checkbox"/> チェックシートの作成、及び確認 |
| <input type="checkbox"/> 内部監査の実施とそのポイント | <input type="checkbox"/> ロールプレーによる模擬内容監査演習 |
| | <input type="checkbox"/> 監査証拠の評価及び記述 |

FSSC22000セミナー

FSMS入門コース



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ¥26,400(税込)
維持会員 ¥23,100(税込)

FSMS取組みのファーストステップ

事例を交えた腑に落ちる説明

食品安全マネジメントシステムの基本事項について初めて学ぶ方、さらにISO22000を学んで今後の仕事に活用したいと願う方々を対象に、食品マネジメントシステム（FSMS）とはどのような活動であるのか、ISO22000規格の意図や規定事項、HACCPやFSSC22000などその他情報を、仕事に置き換えたときにイメージしやすいように事例を交えて説明するコースです。

プログラム 1日間 9:30~16:30

- 現在の食品業界が置かれている状況
- INTRODUCTION
 - CXC1-1969_2022
Codex食品衛生の一般原則
 - 食品安全ハザード
 - HACCP12手順
- FSSC22000 Ver.6
 - ISO22000:2018
 - ISO22002-100:2025 ISO22002-1:2025
ISO22002-4:2025
 - FSSC22000 Ver.6 追加要求事項
- FSSC22000 Ver.6 ポイント
- FSSC22000認証制度

FSSC22000セミナー

e-ラーニングで学ぶ ISO22000:2018解釈 オンデマンド研修コース



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ¥23,100(税込)
維持会員 ¥20,900(税込)

要求事項のポイントを解説

社内の導入研修にも最適

ISO22000:2018の要求事項を、簡単な事例とわかりやすい解説で説明します。好きな時間に学習できる【動画版】ISO22000規格のポイント解説コースです。セミナー参加前の事前学習や、社内の導入研修にも最適です。e-ラーニング上の理解度確認テストで動画の内容のポイントを復習していただけます。

プログラム 視聴可能期間30日間

- ISO22000規格の構造
- 規格要求の逐条解説

FSSC22000セミナー

FSSC22000 徹底マスターコース



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西

中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ¥91,300(税込)

維持会員 ¥82,500(税込)

最短3日で規格の基礎を習得！

認証取得～現場運用の教育向け

食品安全MS規格FSSC22000は、ISO22000に、食品安全のための一般的衛生管理に該当するPRP（前提条件プログラム）の要求事項を統合した規格です。

2026年度より本コースは、「ISO22000規格と制度のポイント解説コース」と「FSSC22000 PRP（前提条件プログラム）速習コース」と「FSSC22000ver.6追加要求事項コース」で構成する3日間通しのコースとなります。

プログラム 3日間

- | | |
|--|--|
| <p>1日目</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> GFSI及びFSSC22000の概要 <input type="checkbox"/> 技術仕様書(ISO22002シリーズにて解説)の要求事項及び関連情報 <input type="checkbox"/> 食品安全に関する情報源の紹介 <p>2日目</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ISO22000規格の構造 <input type="checkbox"/> 規格要求の逐条解説 | <p>3日目</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 食品安全に関わる世界の状況 <input type="checkbox"/> 追加要求事項の各箇条の解説・ガイダンス文書、スキーム解釈 <input type="checkbox"/> まとめ、質疑応答、食品安全に関する情報源の紹介など |
|--|--|

FSSC22000セミナー

ISO22000規格と制度の ポイント解説コース



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西

中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ¥30,800(税込)

維持会員 ¥27,500(税込)

要求事項の逐条解説で正しい理解

FSMSのスタートライン！

ISO22000の要求事項について具体的事例や演習を交えわかりやすく説明するコースです。食品安全ハザード（微生物、ウィルス、化学物質など）の概要も解説。システム構築・認証制度についての情報、HACCPなどの情報も紹介します。

HACCP認証からISO22000（食品安全マネジメントシステム）取得を考える組織の方もご参加いただけます。

プログラム 1日間 9:30～17:30

- ISO22000規格の構造
- 規格要求の逐条解説

FSSC22000セミナー

FSSC22000 PRP (前提条件プログラム) 速習コース



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西

中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ¥41,800(税込)

維持会員 ¥37,400(税込)

PRPをしっかりと理解し習得

目的とエッセンスをしっかりと理解

食品製造のPRP（前提条件プログラム）の要求事項の目的・エッセンスについてケーススタディを交え、わかりやすく説明するとともに、組織としてどこまで取り組めばいいかを説明するコースです。ISO22002シリーズ（技術仕様書）のISO規格制定に対応するため、順次最新情報を反映した内容で解説いたします。ISO22002シリーズは7月に発行され、邦訳版は2025年12月に発行されました。

プログラム 1日間 9:30-17:30

- GFSI及びFSSC22000の概要
- 技術仕様書(ISO22002シリーズにて解説)の要求事項及び関連情報
- 食品安全に関する情報源の紹介

FSSC22000セミナー

FSSC22000 追加要求事項規格解釈コース



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西

中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ¥20,900(税込)

維持会員 ¥18,700(税込)

FSSC22000Ver.6をまるごとわかりやすく

内部監査員の力量担保のために

Ver.5.1からの移行をお考えの組織の方々やV6を知りたい方を対象に、改訂での重要点・より細かく要求される点を図表入りのわかりやすいテキストで事例を交えながらVer.6解説したコースです。

内部監査員は規格を理解するためのトレーニングを受け、その記録を保持し、Ver.6の要求事項の適合を監査し、マネジメントレビューにインプットまでが求められます。本コースでは、受講後に参加証明書を発行いたします。

プログラム 1日間 9:30~15:30

- 開発の目的
- 食品安全に関わる世界の状況
- 各箇条の解説
- まとめ、食品安全に関する情報
- 質疑応答

FSSC22000セミナー

FSSC22000 内部監査養成コース (2日間)



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ¥62,700(税込)

維持会員 ¥57,200(税込)

演習づくしの講義で実践力を体得

有意義な監査を実施する力を養成

現場の検証を重要視するFSSC22000の内部監査業務に必要な基本的知識と技術を確実に習得できると同時に、内部監査員が、自ら食品安全に関わるリスクを検出し、改善及び再発防止ができるようになることを目的としたコースです。「内部監査計画の作成」「チェックシート作成」「内部監査の実施」「不適合報告書の作成」などのワークショップが中心です。

プログラム 2日間 9:30~17:30 (2日目: 9:30~17:00)

1日目
 監査基準
 内部監査の基本事項
 内部監査計画
【ワークショップ】 内部監査目的の共有
【ワークショップ】 内部監査計画の立案
 チェックシート
【ワークショップ】 チェックシートの作成

2日目
 内部監査の実施
【ワークショップ】 内部監査 (模擬監査) の実施
 不適合報告書とは
【ワークショップ】 不適合報告書の作成
 内部監査報告書とは
 修正、是正処置とは
【ワークショップ】 是正処置報告書の作成
 フォローアップ、経営者への報告
 理解度テスト

FSSC22000セミナー

FSSC22000内部監査員養成コース ここ掘れわん! わん! 内部監査 基本の“基”



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ¥33,000(税込)

維持会員 ¥30,800(税込)

演習づくしの一日で力量UP

目的に合った独自のシートを作れるように

既存のチェックリストを使いまわしの内部監査では、コストも時間ももったいない。とはいってもどうすればいいのか……。そんなお困り解決する食品製造組織の現場にマッチした「効果的な質問ができる独自のチェックシートの作り方」を学べるコースの登場です。

ほぼ丸一日たっぷりのグループ演習で、被監査部門の活動の内部監査を通じて、被監査部門はもちろん組織全体の仕組みを良くするタネを見つけられるようになります。

プログラム 1日間 (9:30~17:30)

プロセスアプローチと4Mでとらえる業務の活動
 監査基準と監査証拠 比較評価のための準備
 チェックシートの作成
 模擬監査
 内部監査報告書作成
 是正処置の深堀り
※グループワークを行いながら進めます。

FSSC22000セミナー

動画版 FSSC 22000 追加要求事項解説コース



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 ライブ **動画**

参加費

一般 ￥16,500(税込)
維持会員 ￥15,400(税込)

Ver.6改訂の目的とVer.5.1との差分解説

約3時間の【動画】で追加要求事項を学習

約3時間の動画視聴によりFSSC 22000 ver.6追加要求事項【Ver.5.1との差分解説】を動画で学習できます。

動画冒頭では、食品安全に関わる世界の状況の理解により全体像をイメージでき、FSSC22000スキームが何を求めているのかを明確に理解できます。

(撮影日：2024年1月)

※不明点等FSSC財団確認済み

※ISO22003-1:2022 付属書A カテゴリ分類C・I・K対応

プログラム 視聴可能期間30日間

- 開発の目的
- 食品安全に関わる世界の状況
- 各箇条の解説
- まとめ、食品安全に関する情報

FSSC22000セミナー

HACCPコース (2日間)



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ￥70,400(税込)
維持会員 ￥63,800(税込)

HACCP導入推進に役立つ知識

演習を中心とした実践的コース

食品安全チームのメンバーが、自ら食品安全ハザードに関する情報収集を行いハザード分析ができるようになると同時に、HACCPシステムを科学的な知見、組織を取り巻く内外の変化により継続的に改善することができるようになることを目的としたコースです。

ISO22000を意識しながらのハザードハザード情報収集、フローダイアグラムの作成、ハザード分析、HACCPプランの作成と、ワークショップ中心でしっかりと学べます。

プログラム 2日間 9:30~17:30 (2日目：9:30~17:00)

- | | |
|--|--|
| <p>第1日</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> HACCPシステムとは <input type="checkbox"/> 食品安全ハザード <input type="checkbox"/> インターネットで調べてみよう <input type="checkbox"/> 環境整備と5S <input type="checkbox"/> HACCP導入手順の実施 <input type="checkbox"/> WS1：「製品説明書」を書いてみる <input type="checkbox"/> WS2：フローダイアグラムを完成させる | <p>第2日</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> WS3：ハザード分析表の作成 <input type="checkbox"/> ハザード分析の手順を説明 <input type="checkbox"/> ハザード分析表の発表、講評 <input type="checkbox"/> HACCP導入手順の実施 <input type="checkbox"/> WS4：HACCPプランの作成 <input type="checkbox"/> WS5：改善措置を考える <input type="checkbox"/> 次のステップFSMS |
|--|--|

ISO/IEC27001セミナー

ISO/IEC27001 要求事項解釈コース



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ¥30,800(税込)

維持会員 ¥27,500(税込)

要求事項の逐条解説で正しい理解

ISMSの構築・活用方法を解説

規格要求事項の意図を理解していただき、組織としてどのように要求事項に対応すべきかを説明するコースです。昨今の情報セキュリティに関する課題を念頭におきつつ、どのようにISMSを構築/活用すればよいか、事例を交えながらわかりやすく解説します。

★学習サービス審査員評価登録センター（CLSAR）の「継続的専門能力開発（CPD）」対象コース

プログラム 1日間 9:30～16:30

- ISO/IEC 27001の改訂の背景
- ISO/IEC 27001:2022 要求事項の解説
- ISMSの構築/活用事例

ISO/IEC27001セミナー

ISO/IEC27001 内部監査員養成コース（2日間）



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ¥62,700(税込)

維持会員 ¥57,200(税込)

より明確で理解しやすい演習とテキストに一新！

ISMS固有の事例を取り入れた演習

本コースは、監査の基本と手法の講義に加え、ISMS内部監査の重要ポイントを演習を通して理解度を確認しながら学べます。

特に2日目後半からの総合演習（グループ演習）では、より実践的なスキルを身につけることができます。

総合演習内容：チェックシート作成／模擬監査／是正処置報告書の作成等

プログラム 2日間 9:30～17:00

- | | |
|---|---|
| 1日目 | 2日目 |
| <input type="checkbox"/> 本コースの目的・内部監査の目的 | <input type="checkbox"/> 不適合抽出の演習つづき（講義と演習） |
| <input type="checkbox"/> ISO/IEC 27001:2022要求事項の理解(事前演習の解説) | <input type="checkbox"/> 内部監査の報告（講義と演習） |
| <input type="checkbox"/> 情報セキュリティマネジメントシステム監査とは | <input type="checkbox"/> 内部監査の是正処置（講義と演習） |
| <input type="checkbox"/> 内部監査の基本（講義と演習） | <input type="checkbox"/> 効果的な内部監査に必要なこと（講義） |
| <input type="checkbox"/> 内部監査の手法（講義と演習） | <input type="checkbox"/> 内部監査総合演習 |
| <input type="checkbox"/> 情報セキュリティリスクアセスメント（講義と演習） | <input type="checkbox"/> 提出用 監査所見の作成（個人演習） |
| <input type="checkbox"/> 不適合抽出の演習（講義と演習） | <input type="checkbox"/> 質疑応答（まとめ） |
| <input type="checkbox"/> 質疑応答（まとめ） | |

JIS Q 15001セミナー

個人情報保護管理者・個人情報保護監査
責任者養成コース～力量認定に向けて～



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ¥23,100(税込)
維持
会員 ¥20,900(税込)

✓ 2025年度の最新情報を網羅！

✓ 定期的な受講で力量を維持

JISQ15001:2023で要求される個人情報保護管理者・監査責任者に必要とされる力量を身に付けようとする方を対象としたコースです。各組織が自組織で設定する個人情報保護管理者・監査責任者としての力量証明にお役立ていただけます。改正個人情報保護法とJISQ15001:2023に対応しており、最新動向を把握できます。定期的に受講し自身の力量を向上されることをお勧めいたします。

プログラム 1日間 10:00～17:00

- なぜ ”個人情報保護“ なのですか？ フリダシに戻って考えてみる
- 基礎知識の確認
- マルバツ基準から脱却する
- PMSとは何か
- 安全・安心な個人データの利活用を目指して
- スパイラルアップのテーマ
- 理解度確認試験

※コース修了者には修了証を発行します。

JIS Q 15001セミナー

内部監査員養成コース



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ¥27,500(税込)
維持
会員 ¥24,200(税込)

✓ 豊富な演習で実践力を体得

✓ 内部監査実施の即戦力を育成

JISQ15001:2023に基づく内部監査実施に必要な知識と技術を、講義と演習を通じて1日で身につけていただくコースです。演習を取り入れた実践的なコースとなっており、即戦力の育成に最適です。条件を満たした方には修了証書を発行いたします。なお、本コースは“JISQ15001:2023の要求事項を理解していること”をご受講の条件とさせていただきます。

プログラム 1日間 10:00～17:00

- ガイダンス
- JISQ15001の理解
- PMS監査の理解（内部監査のポイント）
- 内部監査の演習

※初めて内部監査に取り組む方も、講師がサポートいたしますのでご安心ください。

※コース修了者には修了証を発行します。

JIS Q 15001セミナー

個人情報保護・情報セキュリティ リスク分析実践コース



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ¥23,100(税込)
維持会員 ¥20,900(税込)

✓ PMSにおけるリスク分析

✓ 演習を通して手順を体得

個人情報保護、情報セキュリティ関連の業務に従事している方々に向けて、リスク分析の考え方やその手順を解説するコースです。最新の事故事例などのトピックスから、リスクとは何かを捉えなおすと共に、簡単な演習に取り組みながら、具体的な手順を学びます。

修了条件を満たした方には修了証書を発行いたします。

プログラム 1日間 10:00~17:00

- 必要となるリスク管理の再設計
 - 最新トピックスに照らして考える
 - 安全管理措置/基準
 - リアルにリスクを捉えなおす（違反事例の確認）
 - 変化への対応
 - リスクマネジメントの強化
- リスク分析の基礎知識
 - リスク評価方法
 - リスク管理とは
- リスク分析 手順と実習

JIS Q 15001セミナー

個人情報保護マネジメントシステム 構築・移行・運用コース



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ¥23,100(税込)
維持会員 ¥20,900(税込)

✓ 構築・移行・運用を実務ベースで学習

✓ 法改正をふまえたPMS運用のために

本コースでは、JISQ15001:2023に準拠した最新のPMS規程・様式を使用します。2022年に改正施行された新個人情報保護法とJISQ15001:2023の両方のポイントをおさえたいうえで、第三者認証の審査基準も踏まえた個人情報保護マネジメントシステムの規程・様式を完成させる実践講座となります。

プログラム 1日間 10:00~17:00

- 第1講 JISQ15001を使った規程の策定・体制作り・運用方法のポイントー基本のキ
- 第2講 JIS Q 15001を使ったPMSのキックオフ
- 第3講 JISQ15001を使った新規程の策定 実習
- 第4講 JISQ15001を使った新規程の策定 実習
- 第5講 JISQ15001を使った新規程の策定 実習
- 第6講 JIS Q 15001に合致した内部規程策定演習 JIS Q 15001を使った新規程の策定 実習

JIS Q 15001セミナー

JIS Q 15001要求事項解釈コース



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ¥30,800(税込)

維持会員 ¥27,500(税込)

附属書まで含めた詳細な逐条解説

2023年版改正ポイントを説明

本コースでは、個人情報保護事務局の方や、規格の内容を理解したいという方向けに、JISQ15001:2023と旧規格との差分解説を行います。また、JISQ15001:2023と改正個人情報保護法のポイントの両方を解説いたしますので、双方を対照しながらその差分を確認することで、既にJISQ15001を使って法対応を超えた対応を行ってきた事業者の方々が、現状とのギャップを見つけ出し、一早く適切な対応に向けて舵を切れるような内容となっています。

プログラム 1日間 10:00~17:00

- 第1章 改正のポイント
 - 改正個人情報保護法への対応
 - 本体部分と附属書A部分の再整理
- 第2章 本文の逐条解説
 - 今まで本文を見ていなかった場合の着目箇所
 - 0 序文 / 1 適用範囲 / 2 引用規格 / 3 用語及び定義
 - 4 組織の状況 / 5 リーダーシップ / 6 計画策定
 - 7 支援 / 8 運用 / 9 パフォーマンス評価 / 10 改善
- 第3章 附属書Aの逐条解説・リスク評価方法

JIS Q 15001セミナー

部門マネージャー・個人情報取扱担当者のための階層別研修コース

新規



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ¥3,300(税込)

維持会員 ¥3,300(税込)

個人情報のリスク分析

個人情報取扱担当者は必見！

部門マネージャーや個人情報取扱担当者を知るべき個人情報保護マネジメントシステムの基礎を解説いたします。また、従業員教育としての活用はもちろん、はじめてJISを読む方や、JIS Q 15001:2023要求事項解釈コースや内部監査員養成コースの受講前にもおすすめです。

プログラム

- 現在開発中です
当協会HPにて最新版を掲載予定です

JIS Q 15001セミナー

動画版 個人情報保護 マネジメントシステム基礎講座 **新規**



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西

中国 四国 九州 ライブ **動画**

参加費

一般 ¥3,300(税込)

維持
会員 ¥3,300(税込)

PMSを基礎から知りたい方へ

セミナー参加前の事前学習に！

個人情報保護マネジメントシステムやJISQ15001の基礎について学べる動画コースです。PCやスマートフォンでいつでも学習できます。

初めて個人情報保護の担当になられた方におすすめです。他コース参加にあたっての事前学習にもお役立てください。

プログラム 約75分

- パートⅠ
 - ・個人情報保護マネジメントシステム（PMS）の必要性を見直す
- パートⅡ
 - ・個人情報保護で押さえておきたい知識の確認
- パートⅢ
 - ・JISQ15001－規格の概要を理解しよう

品質経営セミナー

事業承継型M&Aを成功させるためのTQMの進め方

新規



開催地区

社内研修にて承ります

参加費

お問い合わせください。

✓ 大企業での経営経験をもとにした実践方法の解説

中小企業の後継者不足に対して、事業承継の手段としてM&Aが活用されています。しかし、統合の障壁となる企業文化の違い、特に品質管理の考え方や運用が課題です。M&Aを進め、事業発展を継続させるには、体系的な準備と、「TQM（総合的品質経営）」を土台とした企業文化の共有が鍵となります。本セミナーでは、TQMの実践方法などを海外事例や実務ノウハウを交え解説します。

プログラム

- M&Aの基本的進め方
 - ・ 質疑応答（事前アンケートに基づく回答）
 - ・ 企業文化の差異と共有
 - ・ 品質管理手法の統合
- M&A（特に海外企業買収）事例紹介
 - ・ 日本と海外の考え方の相違
 - ・ 海外工場を交えたTQM
 - ・ 適用事例をもとにしたポイント解説

品質経営セミナー

TQMを浸透させるための標準化と業務フローの活用方法

新規



開催地区

社内研修にて承ります

参加費

お問い合わせください。

✓ 実践経験に基づく標準化・業務フローの活用方法の解説

近年、品質不正問題が相次ぎ、企業活動における「品質管理」、なかでも「TQM（総合的品質経営）」の重要性が再認識されています。品質重視の経営を実現するには、「業務の見える化をふまえた標準化」と「業務フロー設計」が重要です。本セミナーでは、品質経営の現場事例を交え、業務フローづくりの実践的な考え方と進め方を解説します。

プログラム

- 品質経営・TQMとは
 - ・ 質疑応答（事前アンケートに基づく回答）
 - ・ 品質の重要性
 - ・ 顧客価値と品質
 - ・ 経営と品質管理
- TQMを具体的に進めるための標準化と業務フローの活用—適用事例
 - ・ 現状の把握と業務整理
 - ・ 業務フロー作成の進め方
 - ・ 作成後の運用と注意点

化学物質管理者専門的講習

化学物質管理者専門的講習（2日間）



開催地区

関東

北海道

東北

中部

関西

中国

四国

九州

ライブ

動画

参加費

一般 ¥29,700(税込)

維持会員 ¥27,500(税込)

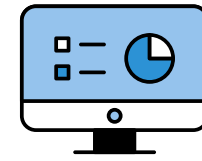
- ✓ 化学物質管理者を養成！
- ✓ 「自律的な管理」への大転換
- ✓ 化学物質に起因する労働災害の未然防止のために

本講習会は、労働安全衛生規則(第12条の5第3項第2号のイ)に基づき、厚生労働大臣が定める、化学物質の管理に関する講習です。

リスクアセスメント対象物を製造する事業場事業者が選任しなければならない化学物質管理者を対象としており、厚生労働省が発行したテキストが講習内容のベースとなっています。

令和4年5月に公布された労働安全衛生法関係政省令の改正により、事業所によっては、これまでの特別規制を主とした化学物質管理、すなわち「法令準拠型」から「自律的な管理」へと大転換が求められることになりました。

この化学物質管理の抜本的見直しにより、事業所によっては、令和6年4月から化学物質管理者選任の義務が必要となっています。



プログラム

2日間（9:25～16:45）

1日目

1. 化学物質管理者
2. 化学物質管理に関する法令
3. 化学物質による労働災害事例
4. 化学物質の危険性・有害性
5. ばく露の指標、ばく露モニタリング
6. 化学物質のリスクアセスメント（リスクの見積り・評価）
7. 化学物質のリスクアセスメント（リスク低減対策）
8. 職場の見回り、教育、緊急時対策

2日目

6. 化学物質のリスクアセスメント（リスクの見積り・評価）
7. 化学物質のリスクアセスメント（リスク低減対策）
9. 健康診断
10. 受講者の作業条件を考慮したリスクアセスメント実習
11. 理解度チェック



講習会では、こちらの書籍をテキストとして配布します。

化学物質管理者専門的講習テキスト 総合版
リスクアセスメント対象物製造事業場・取扱い事業場向け

保護具着用管理責任者講習

保護具着用管理責任者講習（1日）



開催地区

関東

北海道

東北

中部

関西

中国

四国

九州

ライブ

動画

参加費

一般 ￥18,700(税込)

維持会員 ￥16,500(税込)

- ✓ 保護具着用管理責任者を養成！
- ✓ 保護具の適切な選択・活用・管理を学ぶ
- ✓ 「現場で使える」実技講習

本講習会は保護具着用管理責任者の選任が必要なすべての事業者を対象としており、保護具着用管理責任者の養成のための講習会です。

労働安全衛生法関係政省令の改正に伴って学ぶべき知識が増えたことにより、保護具の選定に関して、リスクアセスメントにおける位置づけや、化学物質に対する知識・保護具それぞれの特徴・実用上に求められる細かい技術など、更に保管や更新などについて系統的に学習する必要があります。

そのため、「**保護具に関する知識及び経験を有すると認められる者**」としてすでに選任をされた場合でも、**保護具着用管理責任者教育を受講することが望ましい**とされています。



プログラム 9:20～16:40

I 保護具着用管理

- ①保護具着用管理責任者の役割と職務 ②保護具に関する教育の方法

II 保護具に関する知識

- ①保護具の適正な選択に関すること。②労働者の保護具の適正な使用に関すること。③保護具の保守管理に関すること。

III 労働災害の防止に関する知識

保護具使用に当たって留意すべき労働災害の事例及び防止方法

IV 関係法令

安衛法、安衛令及び安衛則中の関係条項

V 保護具の使用等方法等（実技）

- ①保護具の適正な選択に関すること。②労働者の保護具の適正な使用に関すること。③保護具の保守管理に関すること。

化学物質管理セミナー

GHS・SDS理解のための 基礎コース



開催地区

関東

北海道

東北

中部

関西

中国

四国

九州

ライブ

動画

参加費

一般 ￥24,200(税込)

維持
会員 ￥22,000(税込)

SDS/ラベルを活用していますか？

GHSと国内法との関係性についてもポイント解説

本コースは、2019年JIS Z 7252及び7253の改正ポイントを含め、SDS/ラベルをどのように読めばいいのか、危険有害性の分類及びSDS/ラベルの作成は誰がどのように実施するのかなど、GHSとSDS（ラベル）の基礎について、初めて学ぶ方も体系的にわかりやすく理解できるコースとなっております。

プログラム 1日間 9:30～16:30

- 化学品とは
- 化学品による事故例
- 化学品の取扱い・管理の方法
- 化学品管理に関する法令
- GHSの内容と意義
- リスクアセスメントの基礎 など
- GHSとSDSの概要
- SDSとラベルから何が読み取れるか
- SDS作成とGHS分類の実施
- ラベルの作成・見方 など
- まとめと質疑応答

安全衛生セミナー

職場における労災防止のための
なぜなぜ分析活用コース

新規



開催地区

関東

北海道

東北

中部

関西

中国

四国

九州

ライブ

動画

参加費

一般 ￥19,800(税込)

維持
会員 ￥17,600(税込)

✓ なぜなぜ分析を活用し、労働災害を未然に防止する！

✓ 近年、休業4日以上の死傷者数は増加傾向です！

職場における労働災害の防止を図ることは、事業者にとってより喫緊の課題となっています。

労働災害の防止で大切なことは、原因究明だけに終始せず、できるだけ効果的で無理のない再発防止策を実行することにあります。本コースは、安全の総論からの解説、労働災害の現状、なぜなぜ分析手法の活用等を通じ、労働災害の原因を分析し、その対策を学ぶためのコースです。

プログラム 13:00～17:00

- 安全作業の重要性
 - ・その重要性、ハインリッヒの法則、安全・安心・安定、見える化と聞こえる化など
- 労働災害の現状
 - ・災害統計・型別分類・起因物など
- 作業指示・安全指示
 - ・新規入場教育、リスクアセス、作業間連絡調整など
- 災害の原因分析と再発防止
 - ・特性要因図、なぜなぜ分析（演習を含める）など
- 安全作業の「勘所」
 - ・ヒヤリハットの活用、スポット・イレギュラー作業への対応、安全衛生クイズなど
- 質疑応答

安全衛生セミナー

管理監督者のためのハラスメント
対策コース～裁判事例を中心に～

新規



開催地区

関東

北海道

東北

中部

関西

中国

四国

九州

ライブ

動画

参加費

一般 ￥17,600(税込)

維持
会員 ￥15,400(税込)

✓ 労災事例から対策を学ぶ！

✓ よりよい職場環境を実現！

職場でのハラスメントは個人間だけでなく、その職場全体に影響し、職員の士気低下によって、生産性低下、さらには企業収益にも影響を及ぼしてしまうことから、職場におけるハラスメント対策は、近年、重要な経営課題となってきました。

プログラム 13:00～16:00

- ハラスメントと労災認定
- 職場における主なハラスメント
- 職場におけるハラスメントの実態
- ハラスメントの失敗学
 - ～判例を主な素材として～
(事例検討演習を含む)
- 適正な指導との線引きについて
- 事業主が雇用管理上講ずべき措置
- パワーハラスメント対策導入マニュアル
- 質疑応答

製図技術セミナー

機械製図コース（2日間）



開催地区

関東

北海道

東北

中部

関西

中国

四国

九州

ライブ

動画

参加費

一般 ￥70,400(税込)

維持
会員 ￥63,800(税込)

JISの正しい図示方法を解説

機械製図初心者に最適なコース

機械製図(JIS B 0001:2010)、幾何公差の図示方法(JIS B 0021:1998)、表面性状の図示方法(JIS B 0031:2003)などを中心に、設計・製図業務に携わる方々が“ものづくり”に必要な図面情報を正確に伝達ができるように、基本的事項から高度な公差方式までの内容を学習するコースです。

プログラム 2日間 9:30～17:00

第1日

- 国際規格（ISO）と国家規格（JIS）の動向
～特に、ISO14405-1の対応JIS B 0420について～
- 機械製図規格
- 機械製図規格（午前の続き）
- 長さに関わるサイズのサイズ公差の記入

第2日

- 幾何公差表示方式の図示方法
- 表面性状の図示方法
- 3D製図規格（DTPD）
～JIS B 0060シリーズの最新動向～
- 機械製図演習（解答含む）

製図技術セミナー

はじめての幾何公差 入門コースⅠ



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 **ライブ** 動画

参加費

一般 ￥34,100(税込)

維持会員 ￥30,800(税込)

幾何公差を学ぶはじめての一步

基本のルールとテクニックの解説

「これから幾何公差を勉強したいけれど、どこからはじめたらよいかわからない」「何となく使ってはいるが正しいかどうか自信がない」などとお考えの方々に、講義と演習を通して図面に描くための基本的なルールとテクニックを身につけていただくコースです。

プログラム 1日間 9:30~16:30

- 幾何公差の基本的な考え方・幾何公差とは？
- 形状のバラつきを規制する方法
- データムの描き方と基本ルール（その1）
- 姿勢のバラつきを規制する方法
- データムの描き方と基本ルール（その2）
- 位置のバラつきを規制する方法
- 振れのバラつきを規制する方法
- データムの描き方と基本ルール（その3）

製図技術セミナー

はじめての幾何公差 入門コースⅡ



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 **ライブ** 動画

参加費

一般 ￥36,300(税込)

維持会員 ￥33,000(税込)

入門コースⅠの次のステップ

幾何公差を完全マスター！

「はじめての幾何公差 入門コースⅠ」をマスターした方に、最大実体公差方式や各種公差を組み合わせた指示方法等、さまざまな付加機能を学ぶことで、入門編でありながらも、より実践に近づいたテクニックを身につけていただくコースです。

プログラム 1日間 9:30~16:30

- 入門コースⅠのおさらい（課題の答え合わせ）
- 最大実体公差方式（MMR）と包絡の条件
- 公差域の特別ルールとその使い方
～CZ/限定した範囲/単位長さ・広さ当たりの指示/ねじの中心線に対する指示など～
- データムの描き方と基本ルール（その4）
- 確認テスト

※3D図面を描くセミナーではございません。

不確かさ評価セミナー

入門コース



開催地区

関東

北海道

東北

中部

関西

中国

四国

九州

ライブ

動画

参加費

一般 ￥36,300(税込)

維持
会員 ￥33,000(税込)

測定の不確かさを基礎から解説

評価の概要と重要性を理解

測定「不確かさ」についてその評価の基本事項と分野別事例紹介を通じて理解を深めていただくコースです。研究・計量検定に携わる方はもちろん、JIS品質管理責任者セミナーを修了し、更に勉強したい方にもおすすめです。速解コースとあわせて受講されるとより一層理解が深まります。

プログラム 1日間 9:30~17:20

- 不確かさ評価の基礎
- 電気分野-直流電圧の校正の不確かさについて
- 化学分野-水中の塩化物イオンの測定に関する不確かさについて
- 校正分野-計測器の校正における不確かさの算出

標準化セミナー

戦略的標準化活用基礎講座



開催地区

- 関東
- 北海道
- 東北
- 中部
- 関西
- 中国
- 四国
- 九州
- ライブ
- 動画

参加費

一般	¥33,000(税込)
維持会員	¥29,700(税込)

✓ 先手必勝の標準化競争

✓ 戦略的に標準化を活用

標準化、規格開発に関して学びたい全ての方に、企業戦略・事業戦略・製品戦略のために標準化をツールの一つとしてとらえて活用し、事業を成功に導くためのポイントをしっかり解説する講座です。本講座受講後、修了試験に合格された方には修了証書を発行します。

プログラム 1日間 9:30~17:30

- 標準化の基礎
- 製品規格のビジネス活用
- インタフェース標準の活用
- 試験方法規格のビジネス活用
- プロセス規格のビジネス活用
- 認証のビジネス活用
- 標準化する場所と範囲
- 標準化を活かして使うための体制

標準化セミナー

規格開発エキスパート講座 (4日間)



開催地区

- 関東
- 北海道
- 東北
- 中部
- 関西
- 中国
- 四国
- 九州
- ライブ
- 動画

参加費

一般	¥140,800(税込)
維持会員	¥126,500(税込)

✓ 規格開発のエキスパート養成

✓ 事業戦略に直結の標準化活動

【本講座はRCES（標準化人材登録センター）から「規格開発エキスパート専門講座」として承認されています。（承認番号：SEC SC-01）】

「戦略的標準化活用基礎講座」を修了された方の第二ステップとなる講座です。アドバイスを受けながらも自身で規格を作成できるレベルを修了目標とし、演習を取り入れながら講義を行います。規格についての分析・レポート作成、自ら規格を作成する課題など充実の4日間となっています。

プログラム 4日間 9:30~16:30

- | | | |
|---|---|--|
| <p>第1日</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 具体的な規格の解説
ー規格の要素の分析と解説ー <input type="checkbox"/> 製品規格・試験方法規格のビジネス活用 <input type="checkbox"/> 知的財産と標準化 <input type="checkbox"/> 標準化戦略の考え方 | <p>第2日</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 社内標準の便益についての考え方 <input type="checkbox"/> 国際規格の役割 <input type="checkbox"/> ISO/IEC国際規格の作成プロセス <input type="checkbox"/> JISと開発プロセス | <p>第3日</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 規格の作成方法 <input type="checkbox"/> 規格の要素 <input type="checkbox"/> グループ演習 |
| <p>第4日</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 個人課題の発表 <input type="checkbox"/> 修了試験 | | |

タグチメソッド（品質工学）セミナー

開発・設計部門のための
エキスパートコース（20日間）



開催地区

関東

北海道

東北

中部

関西

中国

四国

九州

ライブ

動画

参加費

一般 ￥508,200(税込)

維持
会員 ￥465,300(税込)

✓ 日本唯一のQEエキスパート養成

✓ 本気で学びたい方のための4か月

本セミナーは経験豊かな講師陣が、品質工学の哲学、戦略的な考え方、様々な分野における応用を丁寧に伝えていきます。ロバスト性の評価と最適化、診断やパターン認識のためのMTシステムを中心に、たくさんの事例が解説され、チーム演習における議論により、目から鱗ともいえる気付きや納得感を体験できます。このセミナーを受けることは、品質工学の社内エキスパートになる一つの条件と言えます。このセミナーを受けることで技術者として大きく成長することをお約束します。

◆チーム演習

毎月、チームで課題を検討し発表する（各月講義終了後の時間帯2回）ことで実践力が身に付きます。

◆宿題/宿題解説

宿題は、単純に計算結果を求める訓練だけでなく、出題の意図、背景、解答に導くプロセスを十分理解していただくために行うものです。また、宿題の解説時間を設けていますので、ご自身の理解不足箇所を確認し、復習にお役立ていただけます。

◆テスト

講義内容の理解度を最終的に確認するため、4か月目に行います。テスト解説だけでなく4か月間の内容を総括したまとめの時間も設けています。

対象

- 研究開発／設計／企画部門の技術者・スタッフの方
- 品質管理／生産技術／品質保証部門の技術者、スタッフの方
- 当会開催の「品質工学セミナー実践コース」または「通信教育による初心者のための品質工学入門コース」を修了された方と同等の知識を有する方

タグチメソッド（品質工学）セミナー

入門コース



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西

中国 四国 九州 ライブ 動画

参加費

一般 ¥64,900(税込)

維持会員 ¥58,300(税込)

品質工学をわかりやすく解説

初学者に最適のコース

品質工学の考え方と基礎的数理の入門的解説を、企業の実施例などを用いてわかりやすく講義を行うコースです。「品質工学をわかりやすく解説するセミナーを開催してほしい」という要望にお応えする入門者向けのセミナーで、研究開発に携わる技術者の方々におすすめです。

プログラム 2日間

第1日 10:00~17:00

- 品質工学の基本概念
- 実施例を通じた解説
(品質工学の研修開発プロセス)

第2日 9:30~16:30

- パラメータ設計の考え方とその手順
- 企業における実施例
(取り組み状況と代表事例の紹介)

タグチメソッド（品質工学）セミナー

通信教育による初心者のための品質工学入門コース



開催地区

全国すべての地区から
申込できます

参加費

一般 ¥61,600(税込)

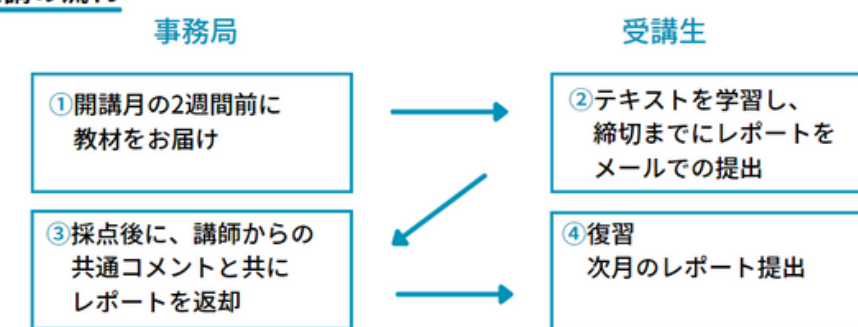
維持会員 ¥55,000(税込)

QEを通信で学べる唯一のコース

事例作成で実践力UP!

品質工学の基礎的な項目を系統立てて勉強する通信教育コースです。40年以上の歴史あるコースで約7000人の受講生を輩出してきました。品質工学を使えるようになるために必要な勉強と練習を実現するこの通信教育でしっかり勉強しましょう。

受講の流れ



質問はレポート提出前後、何回でも出来ます。
※質問への回答は1週間ほどお待ちいただくことがございます。

2026年度リニューアルオープン予定！
確定次第、JSA Webdeskに掲載いたします。

プログラム 6か月間

第1月

- 品質工学概論
- 生産現場における品質水準の評価と改善

第2月

- SN比入門
- 機能性評価とSN比

第3月

- パラメータ設計入門
- パラメータ設計による設計研究

第4月

- 目的機能のSN比と合わせ込み
- シミュレーションによるパラメータ設計

第5月

- 計測誤差とSN比
- 製造工程の管理

第6月

- シミュレーションによる設計研究
- 許容差設計

修了条件

- ①全てのレポート（6回）を指定期間内に提出すること。
※第6月目のみ締切の半年後迄の提出を認めます。
- ②提出されたレポートの合計点（700点満点）が、420点以上であること。
以上の項目を満たした方には修了証書をお送りいたします。

タグチメソッド（品質工学）セミナー

技術者と技術マネジメントのためのDFSS
デザイン・フォー・シックスシグマ
とタグチメソッド



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 **ライブ** 動画

参加費

一般 ¥36,300(税込)
維持会員 ¥33,000(税込)

✓ 損失関数の意義と応用を解説

✓ DFSSをわかりやすく紹介

2018年度まで実施していたタグチメソッドコースの内容に加え、日米において、タグチメソッドを推進、指導した立場からタグチメソッド活用するため、損失関数の哲学、損失関数の応用について解説します。また米国で盛んなDFSS（デザイン・フォー・シックス・シグマ）についても最新情報とともに詳しく紹介します。

プログラム 1日間 10:00~17:00

タグチメソッド

- タグチメソッドの全貌
- 損失関数とその考え方
- 最適化の基本的な考え方
- 最適化の8ステップ
- 予測モデルのためのT法
- 開発期間短縮のためのSBT（System Behavior Testing）
- パターン認識のためのMT法

DFSS デザインフォーシックスシグマ

- DFSSのIDDOV プロセス紹介
- I：Identify Opportunity テーマ選択
- D：Define Requirement 要求の整理
- D：Develop Concept 設計概念の創造と選択
- O：Optimize Design
選ばれた設計のロバスト性の評価と最適化・タグチメソッドの活用
- 開発期間短縮のためのSBT（System Behavior Testing）
- V：Verify
プロジェクトの結果の検証・レッスンラウンド・データベース登録・アクション

タグチメソッド（品質工学）セミナー

タグチメソッド活用による生産技術者のための品質改善コース（2日間）



開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 **ライブ** 動画

参加費

一般 ¥64,900(税込)
維持会員 ¥58,300(税込)

✓ ものづくりにおける不良問題対策

✓ 量産後の不良問題解決

研究開発の源流の段階で推奨されている品質工学の仕事の進め方を、生産技術の段階でどのように具体的に進めるのか解説するコースです。また、量産開始前の段階で行う要素技術開発、量産立ち上げ時のトラブル対策の合理的な進め方、量産後の不良問題の考えた方と対策の方法を経験豊かな講師がわかりやすく解説します。

プログラム

第1日 10:00~17:00

ものづくりにおける不良問題

- 未然防止の考え方と二つの未然防止対策
- オフライン品質工学とオンライン品質工学
- 量産開始までの不良対策と量産開始後の不良対策
- 損失関数の考え方と技術者の使命
- 品質とコストをバランスさせる許容差の決め方
- 製造段階における品質工学
- 製造における管理コストと品質損失
- フィードバック制御と予防保全

第2日 9:30~16:30

量産垂直立上げに重要な仕事の進め方

- コンカレントエンジニアリングと要素技術開発
- 製造工程のプロセス機能を顕在化する
- 信頼性のある製造技術情報を確立する
- 製造技術のシステム選択と機能の明確化
- 不良を作らない製造技術のパラメータ設計
- 量産後の不良問題に対する考え方
- 突発不良と慢性不良に対する考え方
- 慢性不良の対策こそものづくり力
- 品質工学と品質保全と不良ゼロ

タグチメソッド（品質工学）セミナー

体験型演習で学ぶタグチメソッド 実践コース（2日間）



開催地区

関東

北海道

東北

中部

関西

中国

四国

九州

ライブ

動画

参加費

一般 ￥64,900(税込)

維持
会員 ￥58,300(税込)

タグチメソッドの根幹探究

なぜQEが効率的なのかを体験

企業における技術開発の問題点を顕在化し、品質工学がどのように役立つのか、何をねらっているのかを明確にして、その根底の考え方と手法の狙いをひもとくコースです。品質工学の手法や考え方を分かりやすく解説し、演習を随所にいれて実践できる知識を身につけます。

プログラム 2日間

第1日 10:00～17:00

品質工学がねらっているものとその基礎

- 品質工学が何をねらっているのか
- 機能性の評価とパラメータ設計
- 徹底した効率化のために
- SN比と直交表

第2日 9:30～16:30

実践で流れをつかむ(演習と事例紹介)

- 演習(パターゴルフ)
- 従来の実験と技術開発の違い
- 信号と誤差を考える
- 実験の解析、再現性の確認
- 全体の流れでのポイントを整理

研究会

品質工学研究グループ (QRG)



開催地区

関東

北海道

東北

中部

関西

中国

四国

九州

ライブ

動画

参加費

一般 ¥44,000(税込)

維持
会員 ¥39,600(税込)

✓ 半世紀以上続いている最先端の共同研究の場

✓ タグチフィソロフィーを基盤に新しいテーマに取り組む

品質工学研究会 (QRG)とは品質工学の生みの親である田口玄一博士が長年率いてきた世界でも最も歴史のあるタグチメソッドの研究会です。1963年に設立されてから、実に半世紀以上を超え継続しており、その間「品質の評価」や「部門評価制度」などの優れた成果も出版物として発信しています。現在も、活用事例の検討、手法の深掘りと新たな展開への試行などタグチフィソロフィーを基盤に新しいテーマにも取り組んでいます。

日程・プログラム

□毎月1回、第1木曜日（変更の場合あり）に、定例の月例会を開催しております
時間：9時30分～12時30分 or 10時～15時（月によって変わります）

□各界でご活躍の経営や技術分野の講師を招聘し、品質工学(タグチメソッド)の新たな切り口を探るヒントとなる考え方の講義を受けます。共通の課題について共同研究の場を設け、事例発表での議論を通して、より高度な応用・実践レベルの理解を深めます。

研究会

計測機能研究会 (MFRG)



開催地区

関東

北海道

東北

中部

関西

中国

四国

九州

ライブ

動画

参加費

一般 ¥38,500(税込)

維持
会員 ¥35,200(税込)

✓ 計測技術向上の場

✓ 活用・成果のヒントを得られる豊富な事例検討

品質工学を活用しようと思っても「うまくいかない」「社内に浸透しない」等のお困りの声を耳にすることがあります。では、どうしたらうまく活用し成果を出すことができるのか。それにはできるだけ多くの事例にあたるのが大切です。そのきっかけを掴んでいただくため、この計測機能研究会を開催しております。参加者の直面している課題・事例をメンバー全員で検討・討論し、運営委員による問題提起とレクチャー等も行います。

日程・プログラム

□年間6回、原則奇数月の第3金曜日10時～16時に開催しております
（日程は変更する場合があります）

□研究員の直面している技術課題の問題点を出します。
ノウハウは不要、問題はどの分野からの提起でも構いません。
問題点の解決策を検討し、解決の方向性を明らかにしていきます。
参加者の企業において実験を行い、その成果をメンバーで再度検討します。
新しい情報の紹介を行います。

フォーラム

タグチメソッドによる 技術開発フォーラム



開催地区

関東

北海道

東北

中部

関西

中国

四国

九州

ライブ

動画

参加費

一般 ¥3,300(税込)

維持
会員 ¥3,300(税込)

※プログラム例は過去の開催内容です

【特別講演1】品質工学と人工知能

椿広計(情報・システム研究機構、統計数理研究所長)

人工知能は、損失関数を評価データセット上で最小化することで、予測性能などを最適化する。既存データだけではなく、逐次有効なデータを追加する技術が、強化学習だが、これは統計的逐次実験計画法の発展形である。近年注目されている敵対的学習は、性能を最適化する設計者と、性能を最劣化させるノイズ発生者とのゲームの解を求めることで、損失関数に関してロバストソリューションを得られるという発想である。これは、ロバストパラメータ設計の誤差因子調合の発展形である。人工知能には、スライディングレベルやT法に関わる原理も見え隠れしている。

本講演では、品質工学から人工知能の諸原理を見直し、人工知能時代でも品質工学的観点が重要な役割を果たしていることを確認したい。

【特別講演2】デザイン経営とDX

飯島淳一(東京理科大学 経営学部)

2018年5月、特許庁と経産省から『「デザイン経営」宣言』が発表され、それを契機に「デザイン経営」についての関心が高まってきている。

デザイン経営とは、design-driven managementのことであり、単なる色や形などの意匠にとどまらず、デザイン思考によるものやことの開発、さらには、経営戦略としてのデザインを捉えることも含んだ概念である。

ここでは、デザイン経営について紹介し、デザイン思考で用いられるいくつかのツールを実際に使ってみることで、人間中心の考え方に触れる。

また、昨今話題となっているDX（デジタル変革）について、簡単に紹介し、デザイン思考とデジタル技術の相乗効果によるデジタル変革の可能性について述べる。

【QRG活動報告①】タグチ流フロントローディングー因子の抽出方法の提案ー 「タグチ流フロントローディングー ～機能性をベースにしたシステム選択～」

WG1は、新製品開発における、開発期間の短縮を実現するために、開発設計プロセスにタグチメソッドを落とし込んでいく「タグチ流フロントローディング」について、研究活動を行ってきた。前年度までは決定されたシステムからスタートする開発の手順について検討してきたが、今年度は、複数のシステム案がある場合の、システムの選択に焦点を当てた活動を行った。限られた期間と資源の中で、手戻りのない開発をするための方法を、目的と機能の関連付けと機能性をベースにした手法化を試みている。

【QRG活動報告②】「品質の評価」を活用した商品企画開発

メーカーの役割は、生産・製造技術によるモノづくりに加え、顧客価値を創造し魅力的な製品を企画することである。価値創造では、開発プロセス上流の企画段階で如何に顧客価値を評価することがポイントとなる。これまでWG2では、品質の評価を活用し、企画時に行われるニーズ/コンセプト選択の評価方法を確立してきた。次のステップとして、マーケティングミックスに対する評価方法を検討したので報告する。

【QRG活動報告③】損失関数の活用による意思決定

ー乗用車向け自動ブレーキの損失評価の試みー

損失関数を「意思決定と投資判断の手段」と位置づけ、具体的なケーススタディを通してその活用提案に取り組んでいる。今回は、2021年11月より搭載義務化が予定されている乗用車向け自動ブレーキの損失評価を試みる。単に衝突被害をなくすという安全性の観点にとどまらず、経済合理性の観点から本来あるべき自動ブレーキ技術とはどのようなものか考察したい。

【QRG活動報告④】解析手法の研究と活用方法の検討

1. 解析手法の研究

「高次元小標本でノイズの多いデータ」における解析手法を継続的なテーマとして、MT法にGlassoを適用したり、割引き係数法等の見直しや深堀など検討を加えている結果を報告する。

2. 活用方法の検討

昨年度まで、電子基準点から得られる地面変位情報をMT法で解析することにより、地震予測の可能性を視野に入れて特徴量の抽出等を検討した。今年度、新たに電離圏データを加えて大規模地震の前兆現象を捉えられるかなどを視野に解析を始めたことを報告する。

講演会

品質月間特別講演会



開催地区

関東

北海道

東北

中部

関西

中国

四国

九州

ライブ

動画

参加費

一般 ¥2,200(税込)

維持会員 ¥2,200(税込)

✔ **今こそみんなで考えよう！これからの品質の力**

✔ **原点回帰！品質と信頼で築く豊かな社会**



日本では毎年11月を品質月間として1960年より、全国規模での品質意識の高揚、品質管理活動の幅広い普及を目的として続けられ、製品やサービスの品質の向上に寄与してきました。

当協会では日本商工会議所と日本科学技術連盟と共催で品質月間行事の一環として物品販売、特別講演会を開催しております。

右記は昨年度の開催内容です。詳しい日程等は品質月間またはJSAHPに決まり次第掲載いたします（9月上旬ごろ予定）。

— インターネットの環境があれば、どこからでもご参加可能です！ —

- これまでお近くで開催されなかった講演会にお気軽に参加することができます
- PCやタブレット、ご自宅や職場など、お好きな場所からご参加いただけます
- 3密・悪天候などを避け、安全な環境下でご参加いただけます

プログラム (2025年第66回品質月間特別講演会の内容です)

「環境変化に主体的に適応するしなやかな経営
～品質を中心に協力して価値を共創する経営～」
青山学院大学 名誉教授 石津 昌平 氏

「海外から見た日本の品質経営の強さ」
ジャワハルラル・ネルー大学 元教授 Prem Motwani 氏

「人と機械の協調による安全性の向上」
筑波大学システム情報系 教授 伊藤 誠 氏

「カスタマーサクセスの推進 —お客様と共に—」
関工業株式会社 代表取締役 関 浩一 氏

「みんなの科学的な問題解決 —問題解決を生きる力に—」
日本品質管理学会 フェロー 監事 熊井 秀俊 氏

「企業不祥事と日本の製造業の課題～品質の逸脱はなぜ防げないのか～」
京葉人材育成会 名誉会長 / 東京大学 工学系研究科 非常勤講師
中村 昌允 氏

「企業に求められる品質マインドの醸成 —階層別の学びと行動—」
SOMPOリスクマネジメント株式会社
主任コンサルタント 松本 英里子 氏



✓ 品質不正の根絶へ！組織を守る防止策

✓ 新規テーマ企画中！

✓ Point

"組織における不正行為(組織不正)"は、どのような組織においても潜在的な発生要因が存在しています。その中でも、"組織不正"に代表されるものとして、"品質不正"があります。本コースでは、"品質不正"を中心に、"組織不正"が発生する原因はなにか、どのような防止策を取るか、といった内容のセミナーを提供します。

プログラム (過去の講演テーマ一覧)

- 日本型組織のドミノ崩壊と不正
～組織論から読み解く真の防止策～
- 企業不祥事とその背景～品質の逸脱はなぜ防げないのか～
- 組織における不正の発生メカニズムから、品質不正を防ぐ
- 『失敗しない「人と組織」』から学ぶ
— 組織事故・不祥事を根本から防ぐ意識と行動のマネジメント
- 品質マネジメント研修
“品質コンプライアンス問題を防ぐために”

公開研究会

品質経営システム研究会 (COSCO)



開催地区

関東

北海道

東北

中部

関西

中国

四国

九州

ライブ

動画

参加費

一般 ¥110,000(税込)

維持
会員 ¥99,000(税込)

○時代のニーズに合った最新・先端の情報

産・学の講師から好業績を生む品質経営論や実践例、高品質のものづくりや人づくりの事例、顧客満足向上の理論と実際、業務の効率化ノウハウなど、最新・先端の情報を得ることにより、会員の皆様が抱える課題解決への糸口を見つけることができます。質疑応答では、自らの課題解決に役立つアドバイスを講師から直接受けることができます。

○同じ悩みを抱える企業間同士の情報交換の場

会員はトップ企業を含む多数のジャンルの企業から参加していただいています。会員メンバー間の交流、講演者による他社取り組み事例、会員間でのグループディスカッションなどから、自社の中だけでは見えない新しい気づきを得ることができます。

活動内容

会員メンバーの研鑽・交流の場として、月に1回活動を行っています。

1. 月例講演会（年7回）

テーマによってはグループディスカッションを実施します。

2. 事業所（工場）見学会（年1~3回）

一企業としては見学できないような事業所・工場の見学ができます。

3. 特別講演会（年1回）

会員以外の方にも参加いただける講演会を年に1回開催します。

4. 「標準化と品質管理全国大会」（年1回）

産業標準化及び品質管理の普及と推進を目的に、産業標準化推進月間（10月）に開催する行事です。安全・安心・環境・品質など、多分野からの講演を企画します。

活動例（2021年12月～2022年9月）

12月	「事業所見学会」 日本理化学工業（株） 美唄工場（Zoom配信）
1月	「消費者の声を活かす ～消費者志向経営と危機管理～」 嘉指技術品質研究所 代表 嘉指 伸一 氏
1月	「品質工学の実践的な進め方 『技術開発ステップ展開』」 松井サービスコンサルティング 代表 松井 拓己 氏
2月	「官能評価と統計的データ解析」 東京情報大学 総合情報学部 准教授 内田 治 氏
3月	「『現場力』の再生による組織品質の向上」 株式会社シナ・コーポレーション 代表取締役 遠藤 功 氏
3月	「デジタル+インターネット前提社会がもたらす新たな顧客価値創造のあり方」 株式会社IJイノベーションインスティテュート 取締役 浅羽 登志也 氏
4月	「製造業の業務ユースケースにおけるデジタル技術の活用」 日本マイクロソフト株式会社 製造業ソリューション担当部長 伊藤 嘉博 氏
5月	「リスクマネジメントの観点から信頼を考える」 筑波大学 システム情報系 教授 伊藤 誠 氏
6月	「ボトムアップなデジタル変革のためのスマートシンキング手法」 法政大学 デザイン工学部システムデザイン学科 教授 西岡 靖之 氏
7月	「システム信頼性について」 電気通信大学 大学院情報理工学研究科 准教授 金 路 氏
8月	「グローバル品質保証の実ーコロナ禍などの動きの中でー」 IGQクリニック 代表 石川 保 氏
9月	「ヒューマンエラーが減らない本当の理由」 株式会社SMC 代表取締役 松田 龍太郎 氏

国際標準化セミナー

動画版 ISO/IEC国際標準化研修 ＜初級編＞



開催地区

- 関東
- 北海道
- 東北
- 中部
- 関西
- 中国
- 四国
- 九州
- ライブ
- 動画**

参加費

一般	¥7,700(税込)
維持会員	¥6,600(税込)

✓ 3時間の動画で手軽に受講

✓ ISO/IEC業務新任者に最適

ISO/IEC国際標準化活動に初めて参加される方に、国際標準化に関する基本知識を身に付けていただく、約3時間の動画です。PC・タブレット・スマートフォンがあれば、職場やご家庭でも手軽に学ぶことができます。未経験者及び国際標準化活動の経験が1年未満の方に最適です。

プログラム 約3時間

- | | |
|--|---|
| <p>ISO</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 第1章：標準化と規格・国際標準化への参加 <input type="checkbox"/> 第2章：ISOのGDとISO関連ITツール | <p>IEC</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 第1章：国際標準化の基礎 <input type="checkbox"/> 第2章：IEC標準化の組織とプロセス <input type="checkbox"/> 第3章：IEC関連オンラインサービスの活用 |
|--|---|

※IEC編 2026年度リニューアル予定！
リニューアル前のプログラムです

国際標準化セミナー

ISO/IEC国際標準化研修 ＜中級編＞

開催地区

- 関東
- 北海道
- 東北
- 中部
- 関西
- 中国
- 四国
- 九州
- ライブ**
- 動画

参加費

一般	¥22,000(税込)
維持会員	¥18,700(税込)

✓ ISO/IEC規格開発手順

✓ ISO/IEC規格の書き方のポイント

ISO/IEC国際標準化のルールブックであるISO/IEC専門業務用指針（ISO/IEC Directives）第一部（国際規格の開発手順）と第二部（国際規格の書き方のルール）の概要とその利用方法を一日で体系的に習得できるコースです。ISO/IEC専門業務用指針は頻繁に改訂されています。本コースで貴方の知識を是非アップデートしてください。

プログラム 1日間 13:00～16:30

- | | |
|---|---|
| <p><input type="checkbox"/> ISO/IEC Directives Part 1の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> • まえがき • 専門業務に関する組織構成及び責任 • 国際規格の開発 • その他の規格類の開発 • 会議 • 異議申し立て • 特許ポリシー など | <p><input type="checkbox"/> ISO/IEC Directives Part 2の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> • 一般原則 • 規格の構成 • 原案起草 • 文書作成の実際 • 間違いやすい点 など |
|---|---|

国際標準化セミナー

ISO/IEC国際標準化研修 ＜上級編＞

開催地区

関東 北海道 東北 中部 関西
中国 四国 九州 **ライブ** 動画

参加費

一般 ¥24,200(税込)

維持
会員 ¥22,000(税込)

✓ 国際標準化専門家のスキルアップ

✓ 国際会議で直面する課題を解決

国際標準化活動で直面する様々な問題への対応、実際の議長、国際幹事経験者の経験談など、より実践的なレベルを目指すコースです。ISO/IEC専門業務用指針には詳しく書かれていない様々な諸問題への対応についてお聞きになりたいとお考えの方、国内外で標準化専門家として活動される方にお勧めします。また、初級編及び中級編を受講され、将来は戦略的に国際標準化活動を展開したいとお考えの方にお勧めします。

プログラム 1日間 10:00～17:00

- | ISO | IEC |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 国際標準化における更なる向上を目指して | <input type="checkbox"/> 国際標準化における更なる向上を目指して |
| <input type="checkbox"/> 標準化戦略 | <input type="checkbox"/> 特許と著作権 |
| <input type="checkbox"/> ISOの重要概念 | <input type="checkbox"/> 国際標準化における経験談① |
| <input type="checkbox"/> 会議特論 | <input type="checkbox"/> 国際標準化における経験談② |
| <input type="checkbox"/> 最後に「やはり基本はDirectives」 | <input type="checkbox"/> 総合討論及び評価 |
| <input type="checkbox"/> 国際標準化における経験談① | |
| <input type="checkbox"/> 国際標準化における経験談② | |
| <input type="checkbox"/> 総合討論及び評価 | |

JIS原案作成セミナー

JIS原案作成者養成研修

開催地区

社内研修にて承ります

参加費

お問い合わせください

✓ JIS原案作成の基礎知識を解説

✓ 規格作成ノウハウを習得

JIS原案作成支援及び規格原案調整などの規格開発活動で得たノウハウを活用し、国内標準化団体関係者を対象に、JIS原案を作成する際に必要となる規格作成手順、規格作成基本事項等を習得することを目的としたコースです。

プログラム 1日間

- JIS Z 8301に基づくJISの基本知識
- JISテンプレート（JDT）の操作方法
- 標準化一般

社内研修・技術指導のご案内



4つのサービスでしっかりサポートします！

組織の底上げを目指すなら	実践力を高めたいなら	具体的に改善したいなら	意識改革・動機付けを横断的にしたいなら
社内研修	事例指導	技術指導	社内講演会

1

研修効果UP

- ①一度に集合教育を実施できます
⇒同じ教育を一度に実施でき、全社的な活動を展開することができます。
- ②オーダーメイドで、ニーズに合わせた具体的内容を実施できます。
⇒研修内容、講演者の指定、オリジナル教材の作成など、ご要望に細かく対応いたします。
- ③研修後の事例指導で実践力をUPできます。
⇒研修後に貴社事例の改善を目的とした「事例指導」を取り入れることで、研修で学んだことを実践で活用できます。

2

コストダウン

- ①一人当たりの研修費が、公開セミナーよりずっとお安くなります。
⇒公開セミナーでは参加者分の受講料になりますが、社内研修(講演)はコースごとの料金になりますので、大幅にコストダウンできます。
- ②出張費がかかりません。
⇒貴社内の会議室で実施しますので、移動リスクや交通費が軽減されます。
- ③技術指導や事例指導で貴社の問題・課題を改善することで、ムダなコストを削減できるきっかけを提供します。

3

利用しやすさUP

- ①都合の良い時期、希望の場所で実施できます。
⇒移動時間などロスが発生しません。また、設備がストップしているときなどに実施できます。
- ②出張費がかかりません。
⇒協力会社とのジョイントや、「工業団地」や「組合」などの単位でも研修を実施できます。



多様な“人財”育成パターンにお応えします！

教育レベル

教育導入

実施効果の確認

継続的な
レベルアップ

社内研修

社内講演会

技術指導

フォローアップの提案

事例指導

- ①更なる品質目標の設定
- ②社内発表会・品質管理大会の実施
- ③継続的な社内研修、事例指導の実施

フォローアップの提案

事例指導

⋮

定期的な指導

⋮

社内体制の整備

⋮

継続的な指導

社内研修・技術指導のご案内



社内研修

社内研修・コスト・利用しやすさで選ぶなら
「社内研修」がおすすめです



1 社内研修とは

貴社指定の場所（オンライン可）・日程で、
①公開セミナーと同じ内容を実施、又は
②公開セミナーの内容を組み合わせて実施、あるいは
③オーダーメイドの内容でオリジナル研修を実施できるサービスです！

2 社内研修の実施

貴社の工場・事業所において、まとめて多くの人数を教育することができますので、従業員に必要な知識習得など、教育効果としても有効です。また最近では、オンライン開催の要望が増えており、一部研修を除き、実施しております。

- 【実施例】 ●品質管理関係 品質管理入門コース/品質管理検定3級受検者のためのレベル表対応コース/新QC七つ道具活用コース/
品質管理入門講座/実験計画法入門活用コース 他
- 現場の管理・改善関係 5Sコース/作業標準コース/試験・計測器管理コース/作業改善コース/ポカヨケコース 他
- 品質工学関係 品質工学入門コース/MTシステムコース/品質工学実践コース 他
- ISOマネジメントシステム関係 ISO9001・14001・22000・27001・45001セミナー/FSSC22000セミナー 他
- その他 検査体制構築コース/FMEA・FTA入門コース/デザイン・レビュー入門コース/ビジネスツールとしての国際標準化 他

3 オリジナル（オーダーメイド）社内研修の実施

貴社のニーズを確認し、カリキュラムを企画・提案した上で、貴社向けのオリジナル研修を実施します。
貴社のニーズにあった研修が実施できますので、研修の効果が一層高くなります。

- 【実施例】 ●QCストーリーに基づく、中堅社員のための品質管理研修/職場における仕事の管理と改善研修/体験型改善研修
貴社のレベルに合わせた品質管理基礎研修（例えば事務・営業部門なら新QC七つ道具中心 等）
- ISO内部監査員のためのフォローアップ研修 等 ※実施できる研修内容についてはお問い合わせください。
- 品質管理・信頼性（FMEA・FTA等）のオンライン用カスタマイズ研修 等

グループ討論などを多く組み込み、より考える研修を実施できます！

社内研修・技術指導のご案内



e-ラーニング

社内教育にe-ラーニングコンテンツ利用
を考えている方におすすめ

組織の人材育成で30名以上を対象に、以下の教育を検討されている場合、
所定の条件で対象の人数に対してボリュームディスカウントでご提供可能です。



- 【1】 ISO 9001:2015解釈オンデマンドコース（受講期間：30日）
- 【2】 ISO 22000:2018解釈オンデマンドコース（受講期間：30日）
- 【3】 品質管理検定3級受検者のためのレベル表対応コース（受講期間：90日）
- 【4】 品質管理検定4級受検者のためのレベル表対応コース（受講期間：20日）

<オンデマンドコンテンツの利用のメリット>

- ・ わからない箇所は、一度だけではなく、何度も繰り返し復習できる
- ・ 空いた時間に少しずつ勉強できる
- ・ 多くの方が受講できることで業務の中でも同じ考えを共有できる

詳細を確認したい、ご不明点等あれば、お問合せください

社内研修・技術指導のご案内



事例指導

改善活動などで解決したい問題・課題の事例を提示いただき、ベテラン講師と一緒に解決できます！



1 事例指導とは

- 貴社指定の場所（オンライン可）・日程で、
- 業務上の問題・課題などの事例をもとに、問題解決力など実践力のレベルアップのために、ベテラン講師から貴社会議室などで指導を受けられるサービスです。
 - 社内研修後に事例をベースとした実践力を向上する教育としても有効です。

2 事例指導の実施

貴社で取り組んでいる問題・課題に関する改善活動について事例を提供いただき、その事例をベテラン講師がサポートしながら、改善に必要なデータの取り方、分析の仕方などを細かく指導いたします。またその結果、どのように改善していくかヒントを出しながら自ら実践できるようにサポートいたします。

【実施例】 ●不適合品〇〇%削減

●業務を効率化し、作業時間を短縮する

●〇〇〇のチョコ停の削減

●〇〇〇の製品特性値の改善

●組立工程における不良低減

●なぜなぜ分析事例指導

●FMEA事例指導

※実施できる事例指導内容につきましてはお問い合わせください。

事例指導の一般的な活用例

事例の選定と計画策定

取り組んでいる課題について、講師へ説明いただきます。解決するためにはどのような計画・方法にすべきか、講師とじっくり打合せを行います。

データ解析・指導

策定した長期的な計画にしたがって、データのとり方、解析方法の決定など、目標達成に必要な事項を数回にわたり細かく指導を行います。

発表会での講評・講演

解析結果の考察、今後の取り組み方など、社内での発表用の資料の作成についても指導します。また発表会における特別講演や、発表事例についての講評も実施可能です。

社内研修・技術指導のご案内



技術指導

実際に直面している問題、組織としての課題、生産性向上、現場改善について直接指導いたします。



1 技術指導とは

貴社指定の場所（オンライン可）・日程で、

●業務上の問題・課題などの題材、生産性向上、業務効率化など、ベテラン講師から現場や貴社会議室などで直接指導を受けられます！

●現場（職場）でディスカッションしながら指導しますので実践力を磨くことができます！

※技術指導サービスの範囲として、マネジメントシステム構築は除きます。

2 技術指導の実施

貴社で発生しているさまざまな問題・課題についてベテラン講師がサポートしながら、直接指導いたします。

技術指導実施後は、毎回指導報告書を提示し、成果をご報告いたします。

また事例指導前に、貴社の現状を確認するためのギャップ評価も必要に応じ実施いたします。

【実施例】 ●5S徹底による職場環境改善と作業の効率化活動

●生産性向上のための改善活動

●不良低減活動

※一部オンラインでも対応しています！

●クレーム対策活動

●設計・開発部門への品質工学導入活動 等

※実施できる技術指導内容につきましてはお問い合わせください。

技術指導の一般的な活用例

ギャップ評価

業務効率化、業務改善を行うに当たり、何が問題か、何を改善しなければいけないかのギャップ評価を行います。その評価結果を受け、改善計画をご提案します。

技術指導

改善計画にしたがって、現場（職場）にて直接的な指導を数回にわたって行います。指導ごとに指導内容、成果、課題を報告書にまとめ、提示します。

継続的な技術指導/振り返り

指導報告書に示した課題を継続的に指導します。過去の指導内容の振り返りを行い、結果をまとめる支援を行います。

報告会での講評・講演

指導結果の成果、振り返り、今後の取り組み方など、社内での報告会用の報告書、資料作成についても指導します。

社内研修・技術指導のご案内



社内講演会

講演会には、
右記のような効果が
期待できます。

社員に気づきを与えるイベントにしませんか？

- 社員に新しい視点を与え、固定概念を変えることができる。
 - 新しい手法などを普及させるきっかけを作ることができる。
 - 日常忘れがちな点の重要性を、再認識させることができる。
- そのためには貴社の実情にあったテーマ・講演者を選定することが重要です！



講演者・テーマ選定もお任せください！ ～ご担当者様をサポートいたします～

テーマ選びが大変！

ご担当者様にとって、テーマの選定は毎回のこととなるととても大変です。当会では、今までの豊富な実績を踏まえて、講演テーマ・内容・講演者をリストアップし、ご要望にあったものを選んでいただけるようご提案いたします。

良い講演者がなかなか見つからない！

ご多忙の中、せっかく開催する講演会です。講演者は、その道のスペシャリストにお願いしたいものです。さらに自社の課題や今後の取り組みをインプットした上で、講演いただくことが効果的です。当会では、実務経験をバックボーンとした説得力のある講演をしていただける、知名度だけではない“本物”の講演者を派遣します。

こんなお悩みは
ありませんか？



産・学・官に幅広く深いつながりを持つ、
当会が最適な講演者をご紹介します。

- セミナー講師 ●発行書籍の執筆者 ●指導経験豊富なコンサルタント ●実務経験者
- ものづくりに関連する各分野の第一線の研究者 ●ISO・IECほか国際標準のスペシャリスト

※講演者・講演内容によりますが、オンラインでも実施しています！

講演テーマのキーワード

- 現場改善：5S、ポカヨケ、見える化、ヒューマンエラー 等
 - 品質改善：品質管理の基礎、小集団活動の円滑化 等
 - ISO：経営者・管理者向け講演会、ISOとは 等
 - その他：コミュニケーション、未然防止活動 等
- ※テーマなどのご相談ください